

1 概要

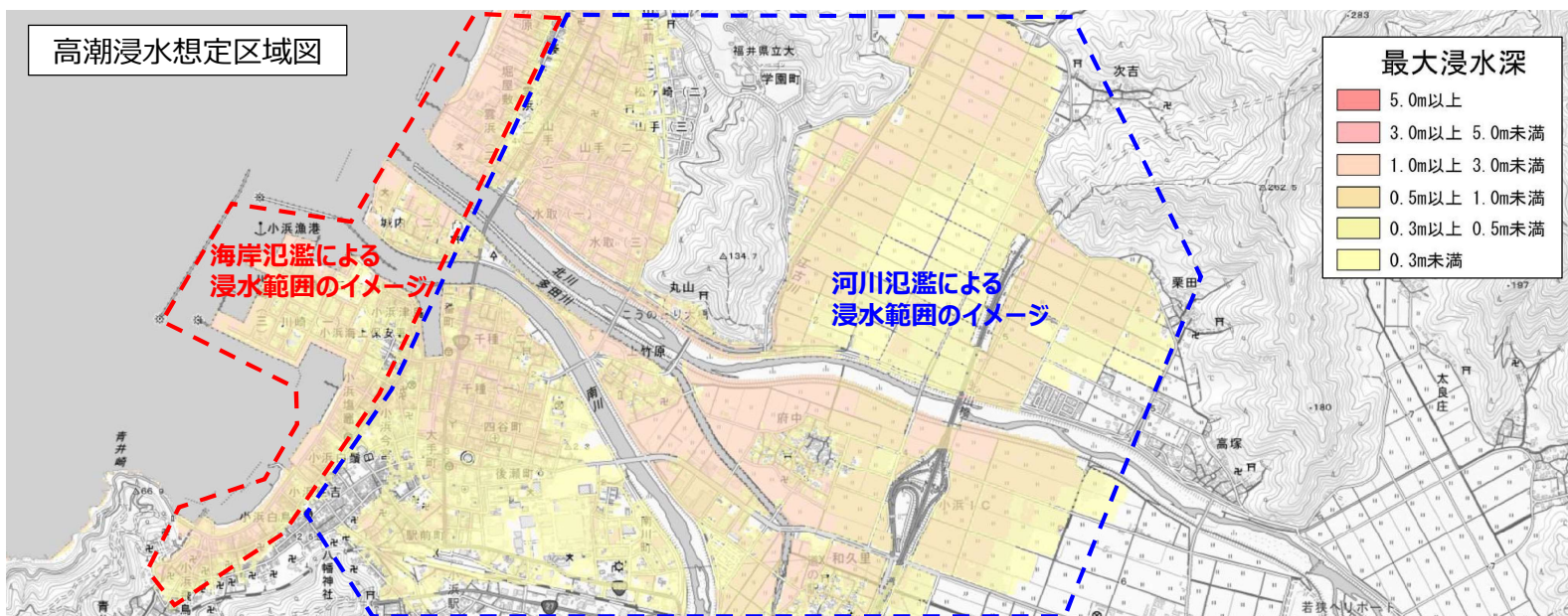
- 高潮浸水想定区域の指定は、高潮による浸水リスクを周知し、住民の避難行動などの防災対策を促すことを目的としている。
- 令和3年7月の水防法改正により、全国すべての沿岸部で高潮浸水想定区域を指定することが義務化。この改正を受け、本県においても区域指定を行う。

2 浸水範囲の考え方

- 台風に伴う海面上昇や強風による高潮で海岸からの氾濫、さらに高潮の影響で河口付近の水位が上昇し、川の水が海へ流れにくくなることで上流側の水位が高まり、河川が氾濫することを想定
- 国内で記録された最大級の台風（昭和9年室戸台風など）による影響（海面水位の上昇、高潮・台風による潮位・波浪の上昇）と、河川において最大の水量が流れている状況が同時に起きた場合を想定し、高潮時の最大浸水範囲を算定

3 区域の指定

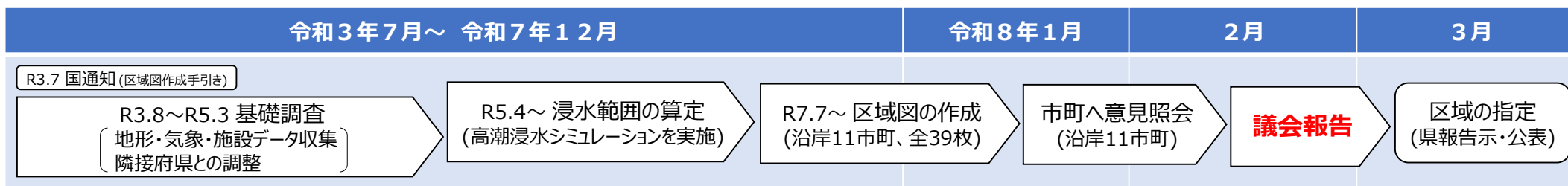
- 算定した浸水が想定される範囲を「高潮浸水想定区域」として指定



<各市町の浸水面積>

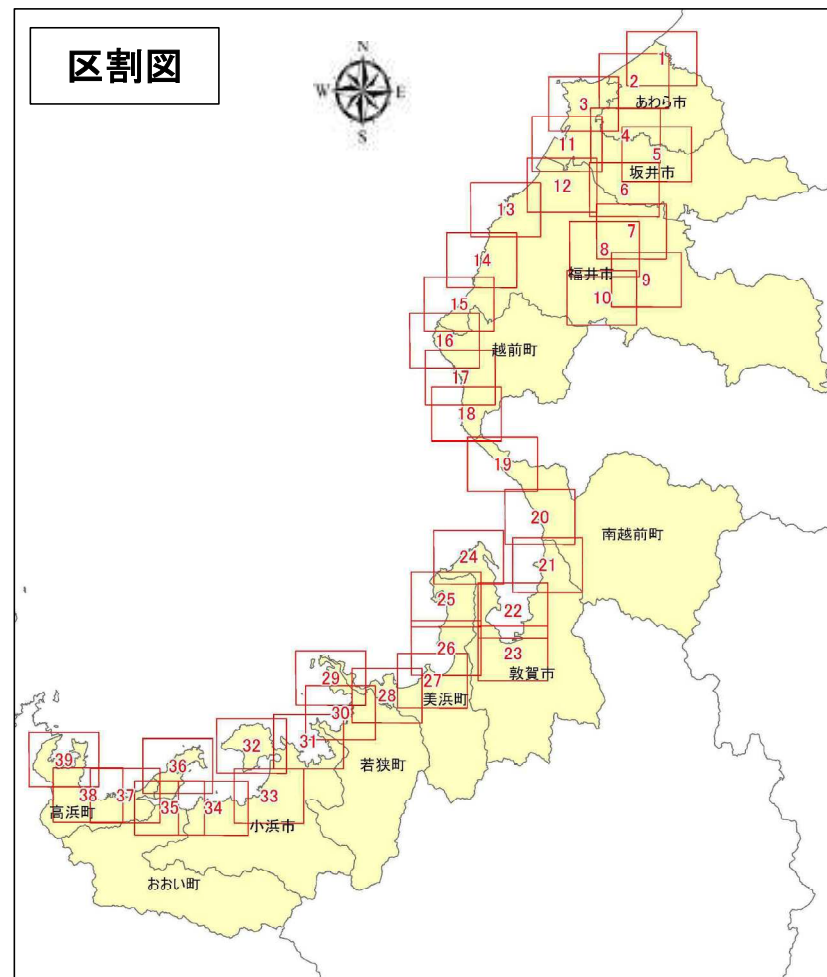
市町名	浸水面積(ha)
福井市	6,963
敦賀市	578
小浜市	823
あわら市	2,065
坂井市	4,761
南越前町	32
越前町	64
美浜町	198
高浜町	301
おおい町	242
若狭町	34
合計	16,061

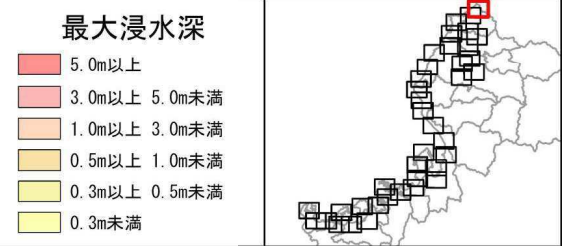
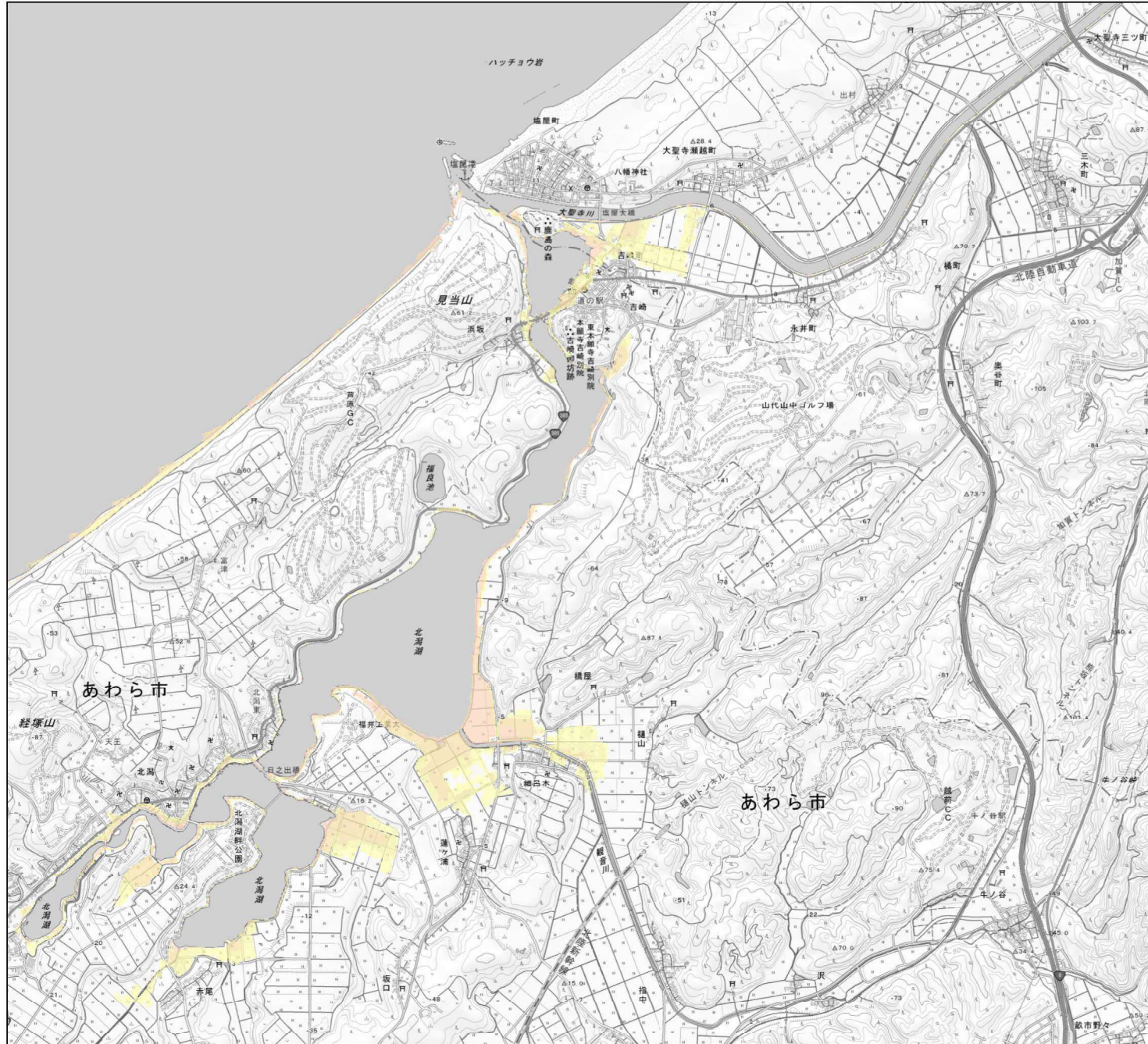
4 区域指定に向けたスケジュール



福井県高潮浸水想定区域図

市町名	図面番号
福井市	6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15
敦賀市	21, 22, 23, 24
小浜市	31, 32, 33, 34, 35
あわら市	1, 2, 3, 4, 5
坂井市	3, 4, 5, 6, 11, 12
南越前町	19, 20
越前町	16, 17, 18
美浜町	25, 26, 27, 28, 29
高浜町	37, 38, 39
おおい町	35, 36
若狭町	29, 30



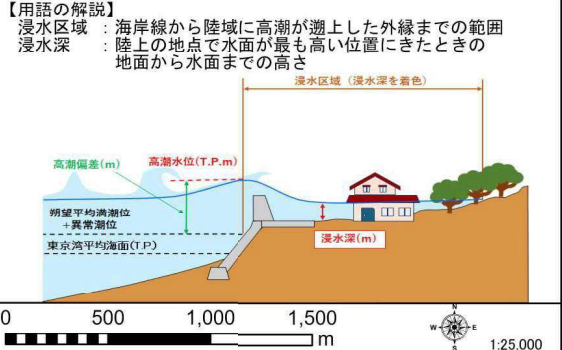


【留意事項】

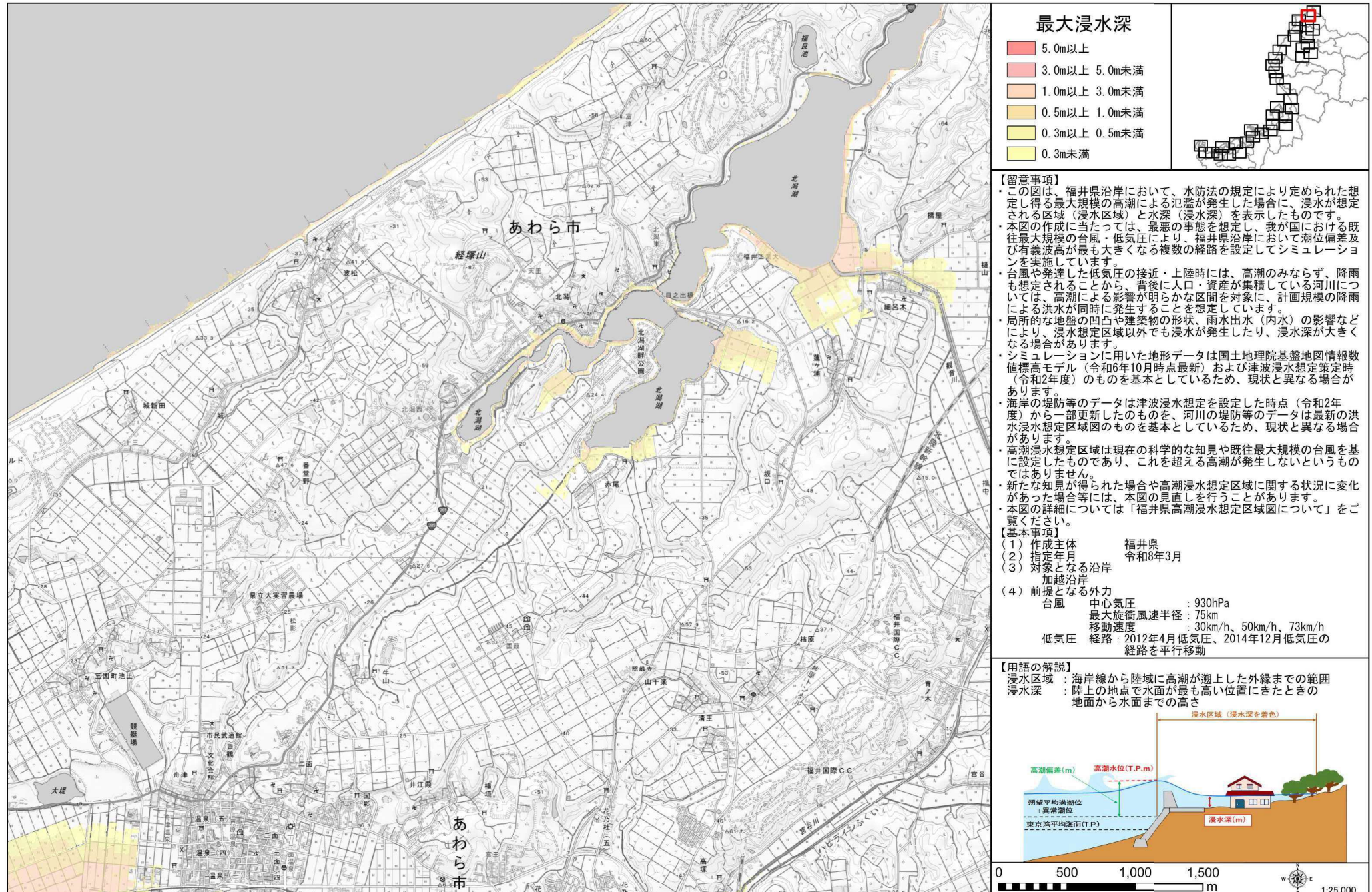
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋衝風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。『測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 630』



最大浸水深

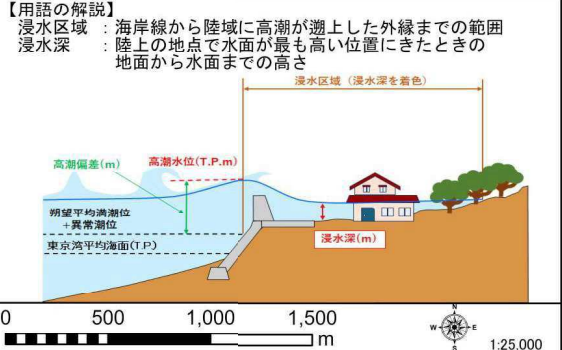
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

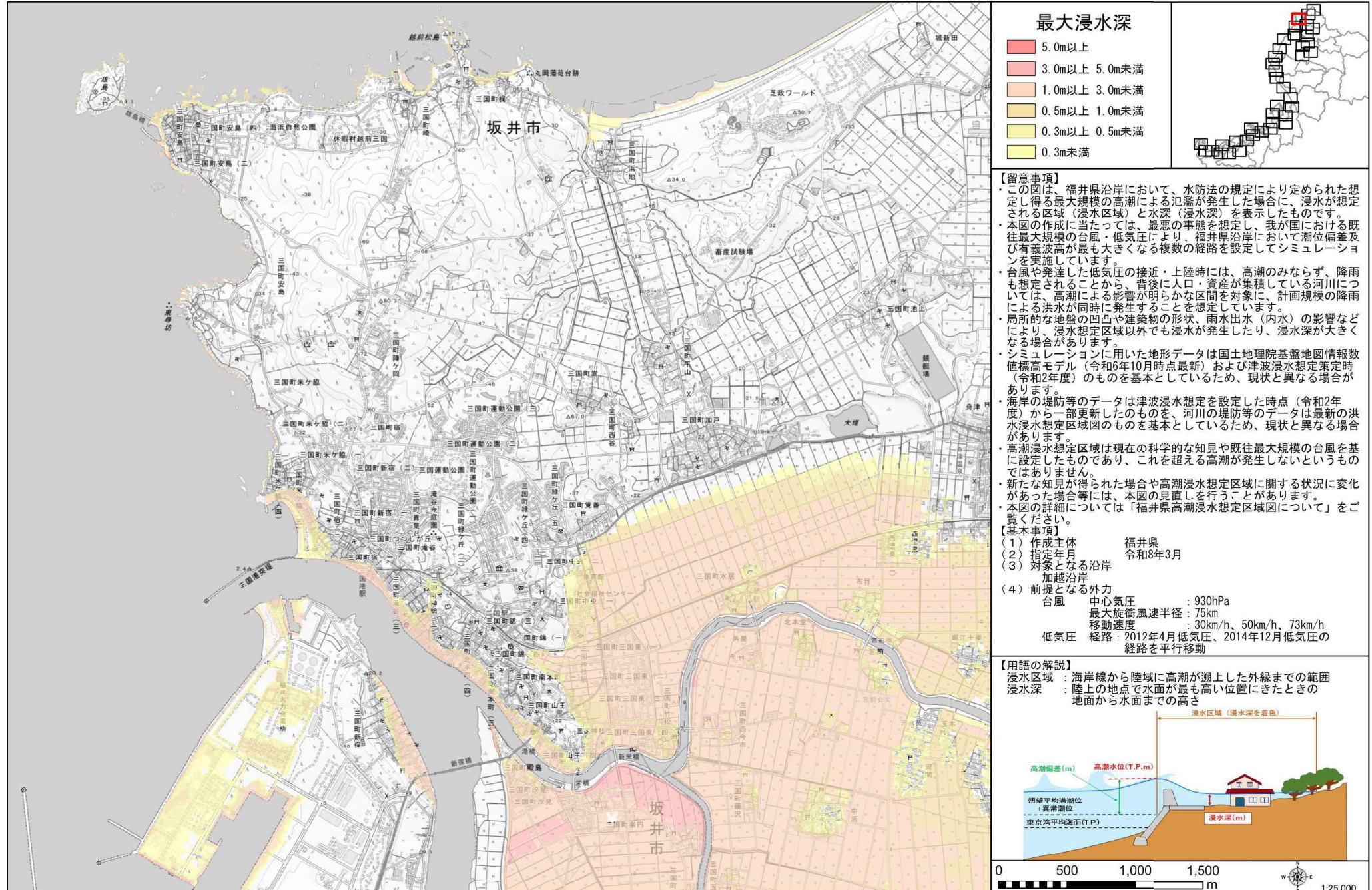
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

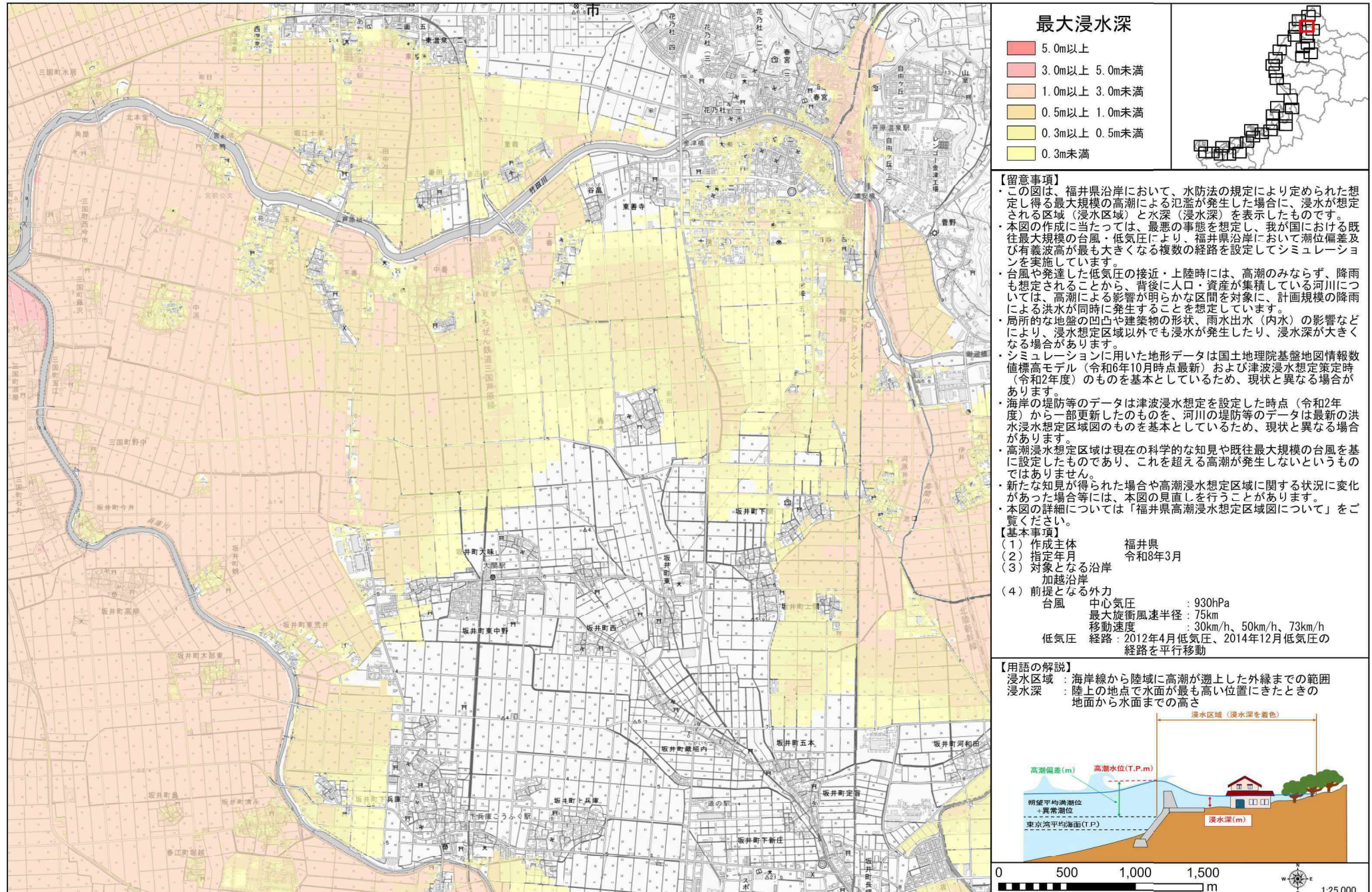
- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。『測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630』



最大浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

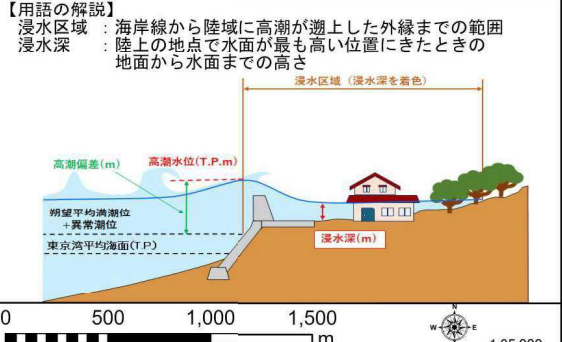


【留意事項】

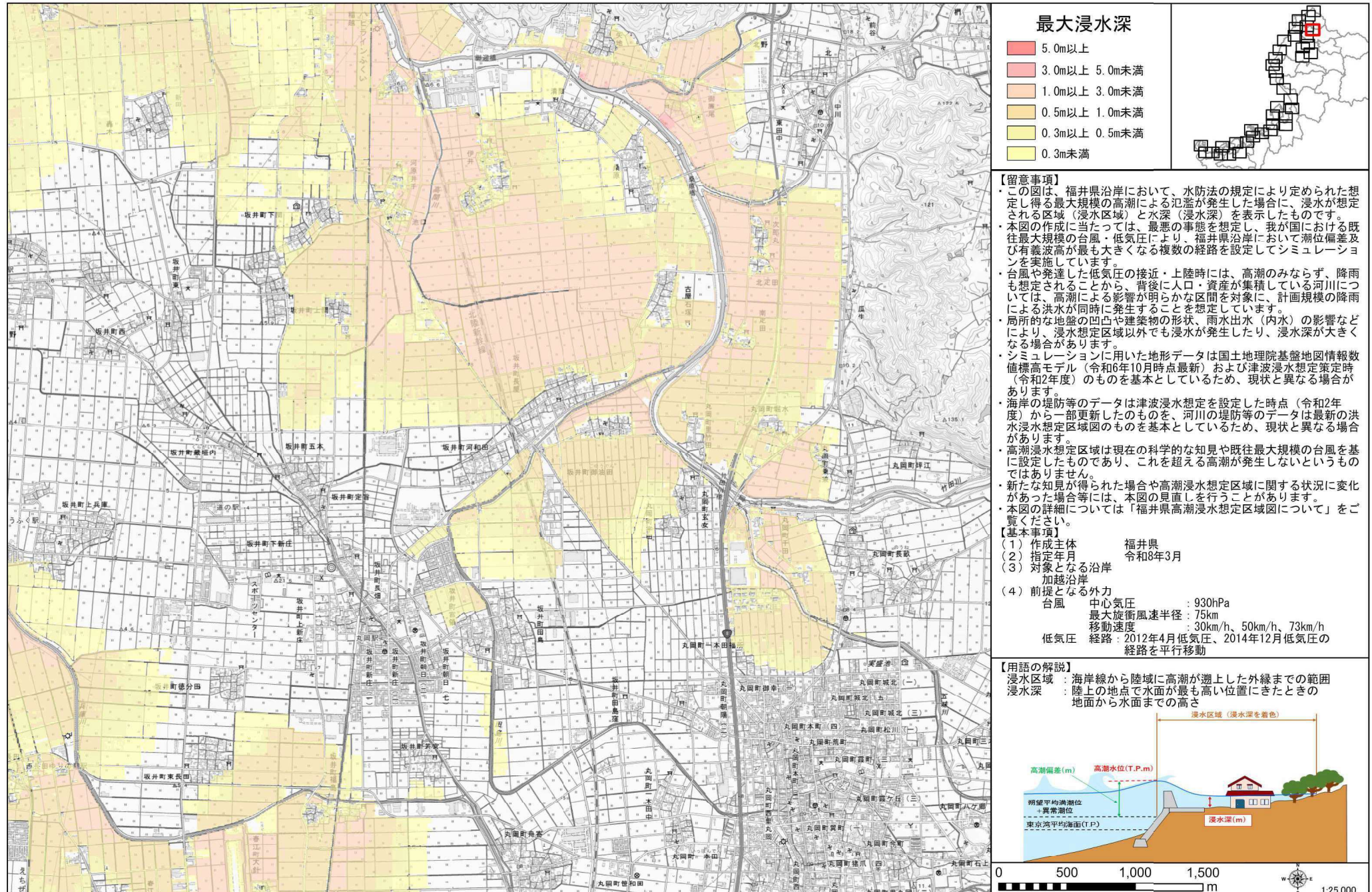
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかでない区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋衝風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

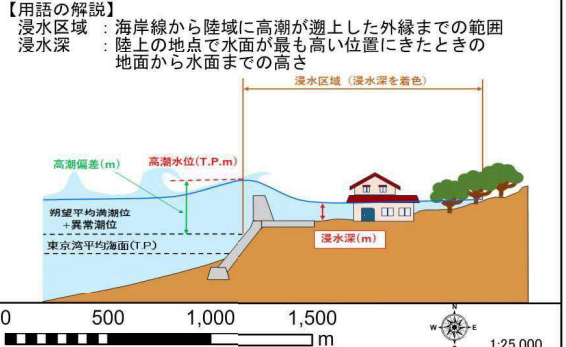
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

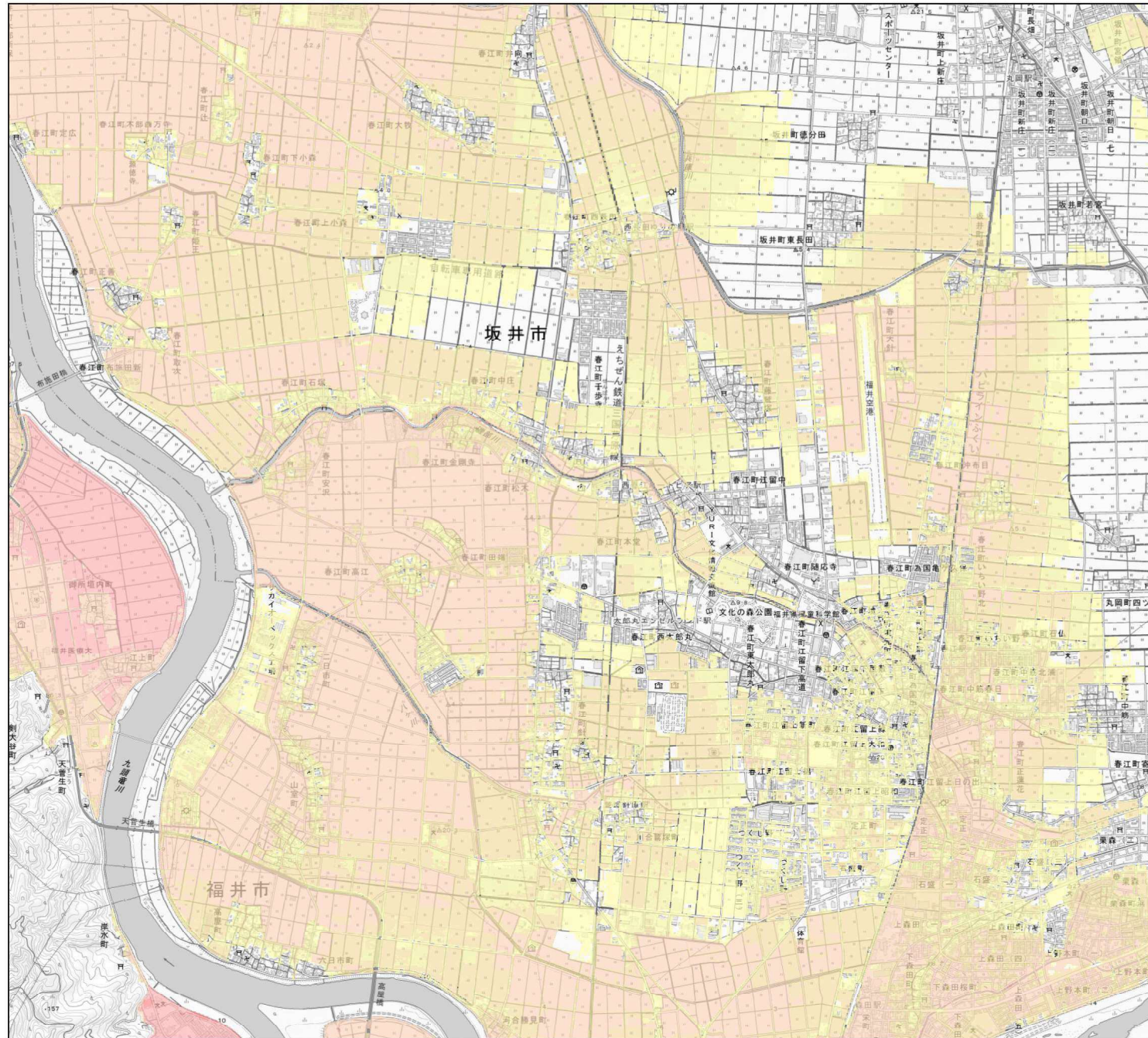
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋風風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

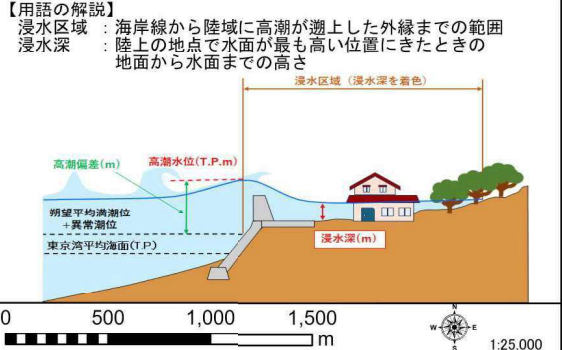
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

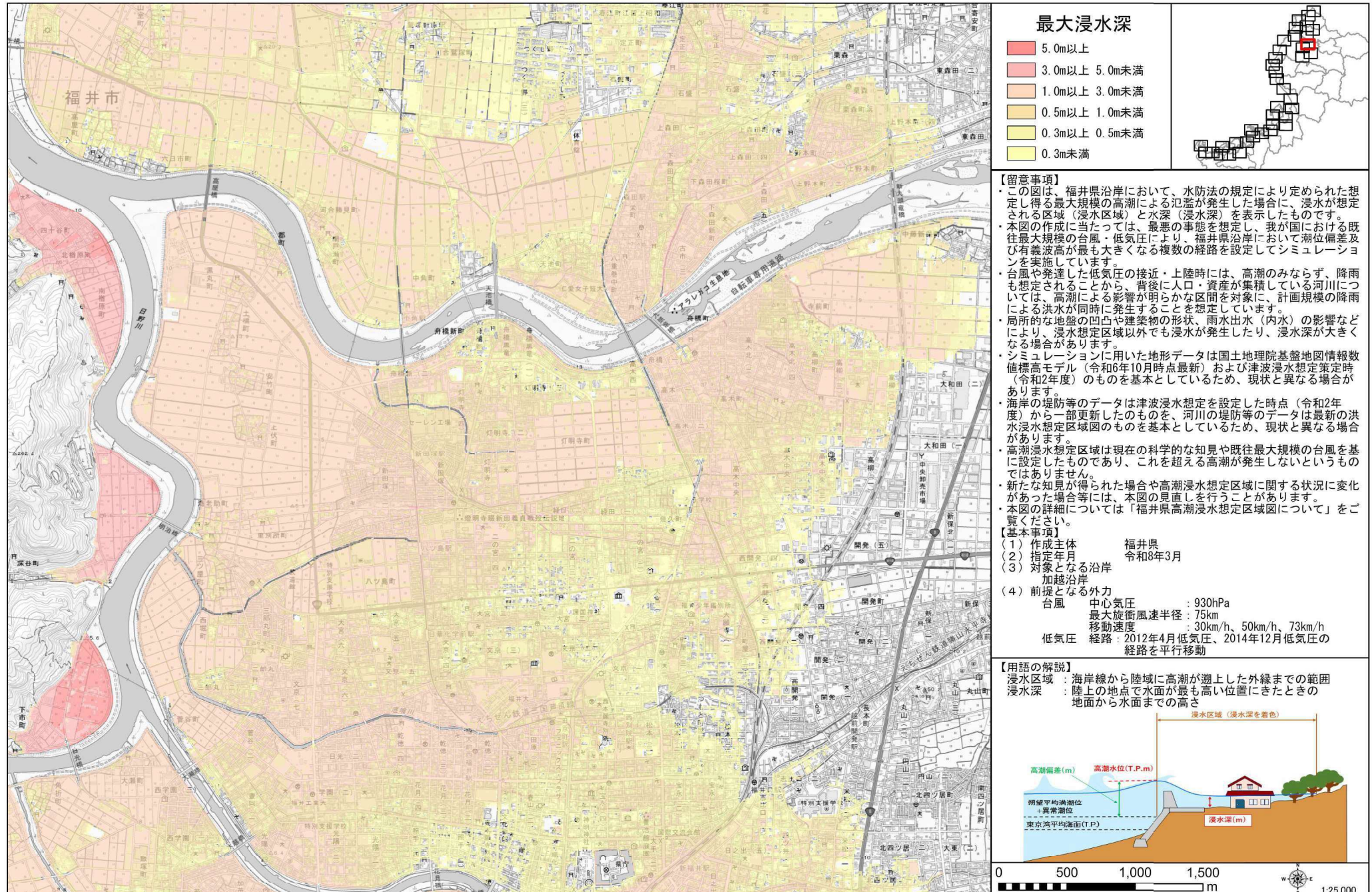
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋風風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動

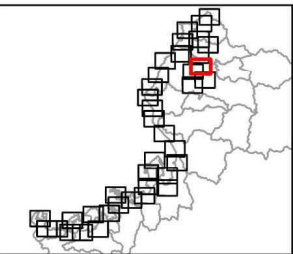


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

5.0m以上
3.0m以上 5.0m未満
1.0m以上 3.0m未満
0.5m以上 1.0m未満
0.3m以上 0.5m未満
0.3m未満

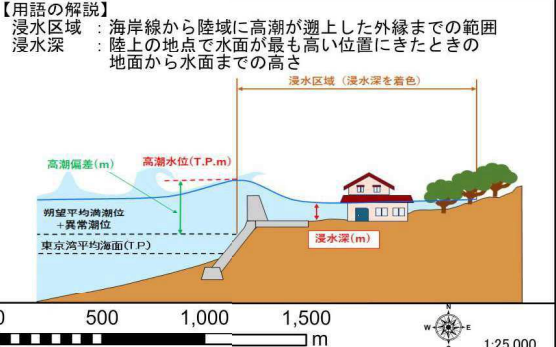


【留意事項】

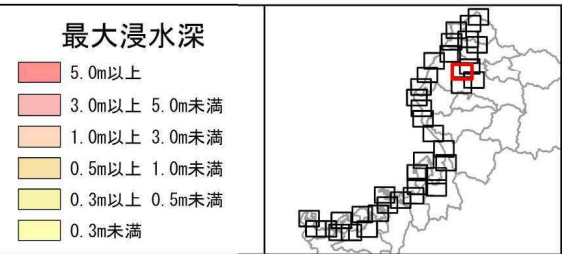
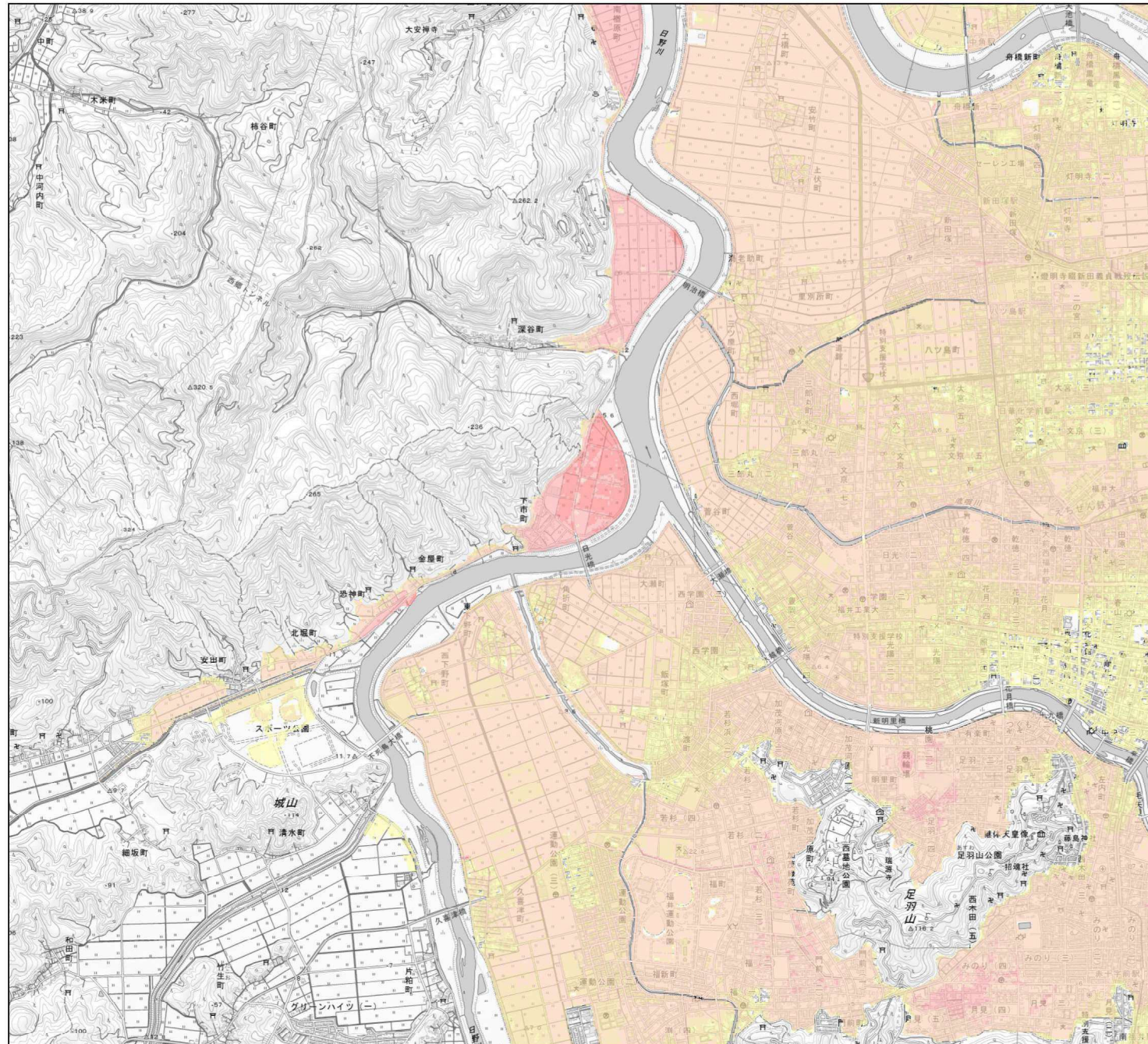
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	加越沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa 最大旋衝風速半径 : 75km 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

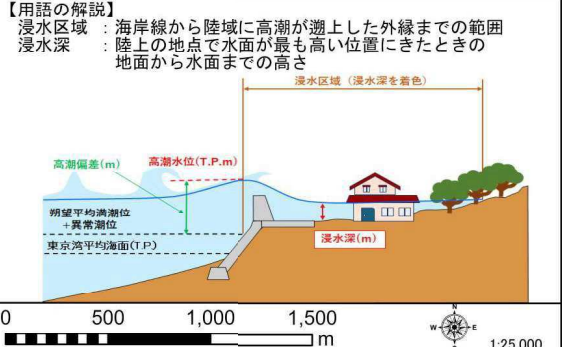


【留意事項】

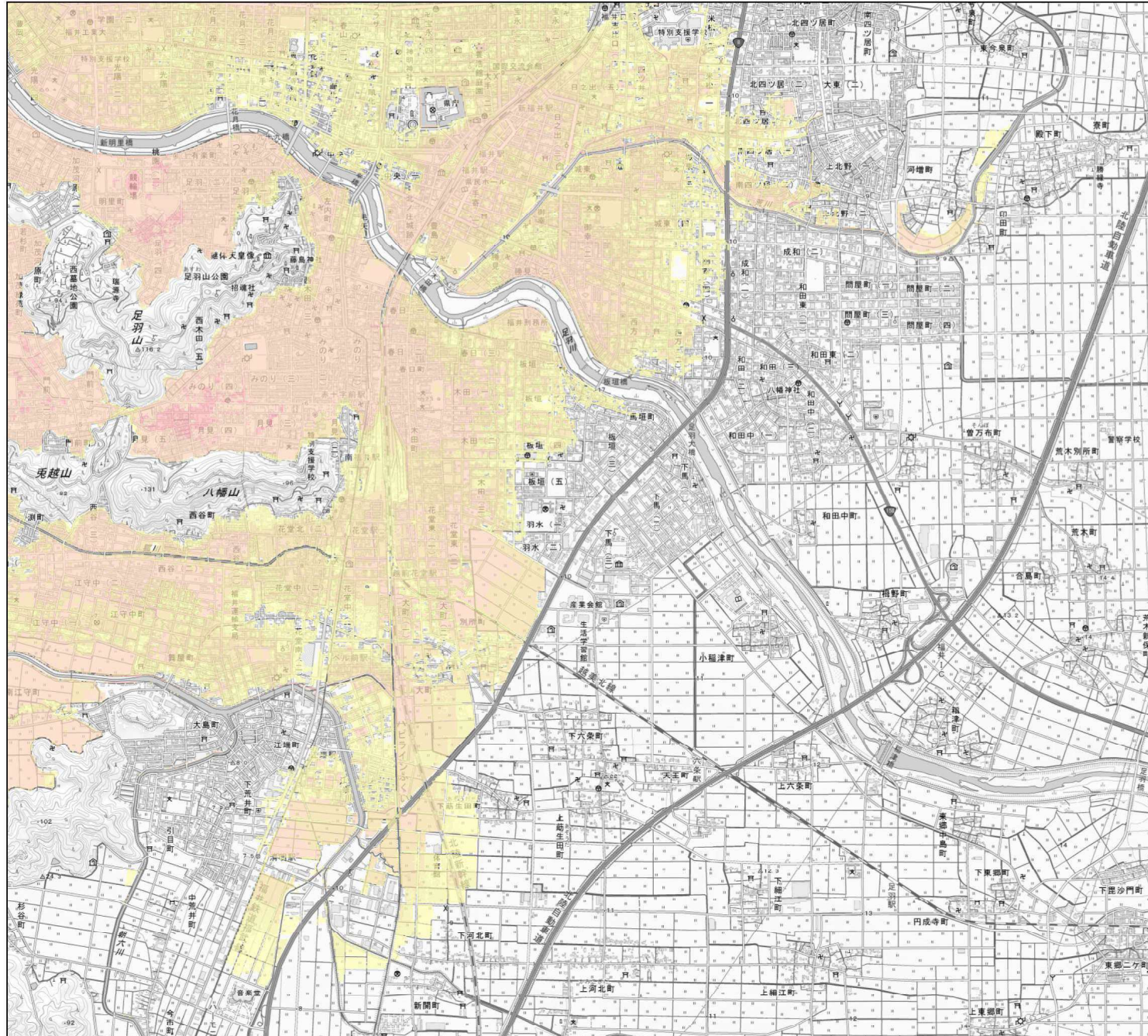
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかでない区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋衝風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

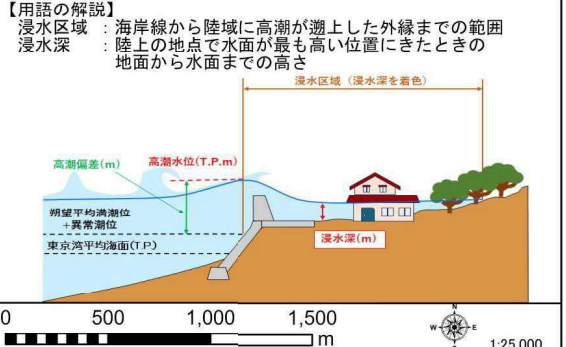
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

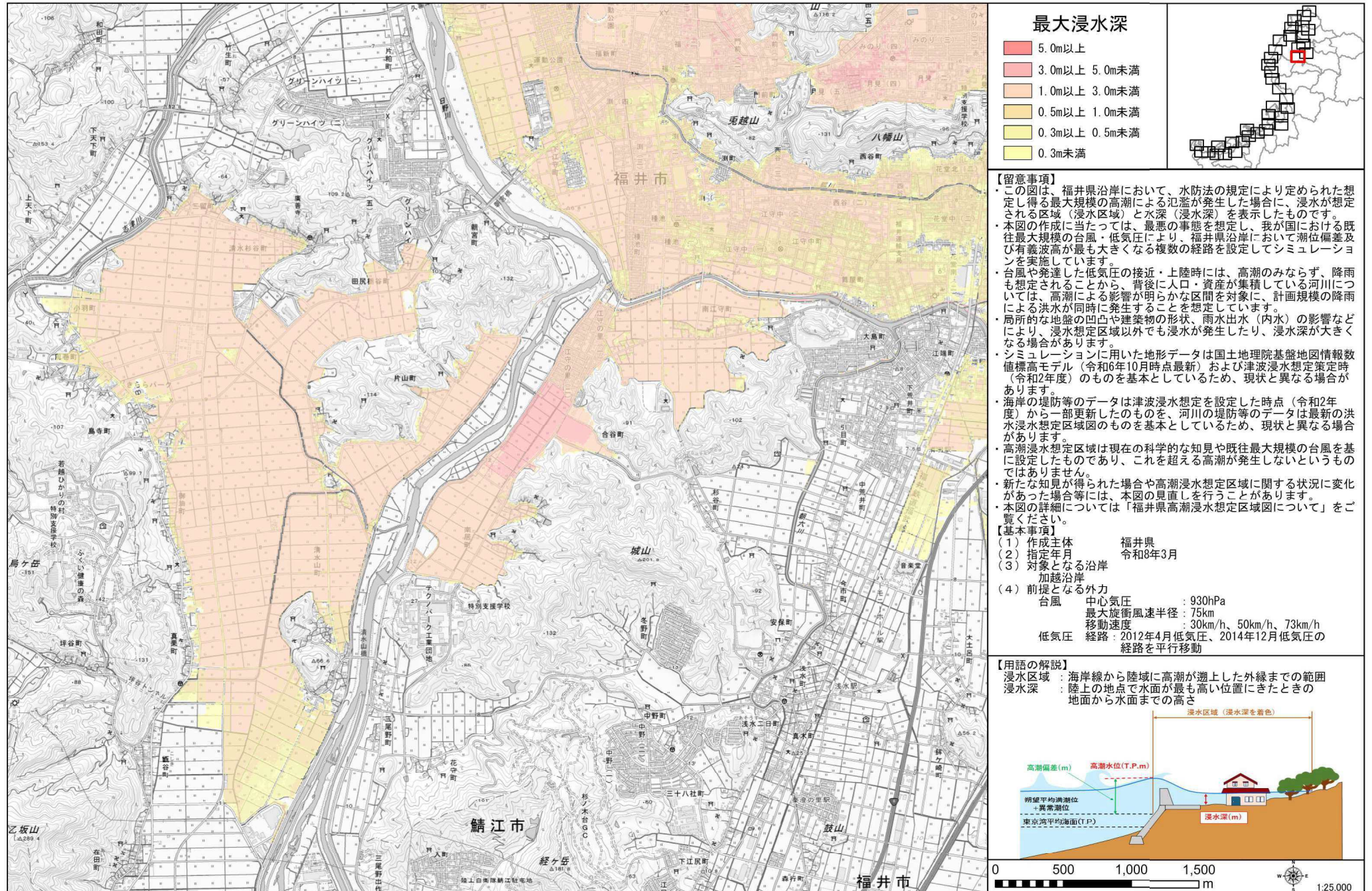
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きく複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋衝風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

5.0m以上
3.0m以上 5.0m未満
1.0m以上 3.0m未満
0.5m以上 1.0m未満
0.3m以上 0.5m未満
0.3m未満

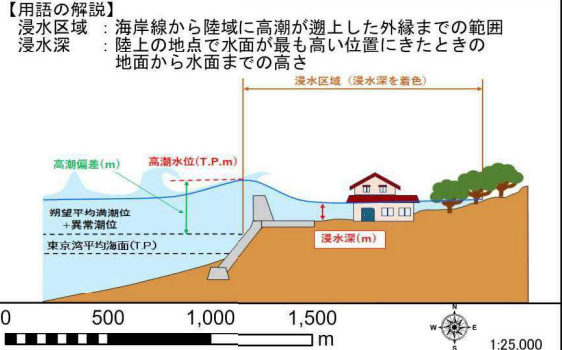


【留意事項】

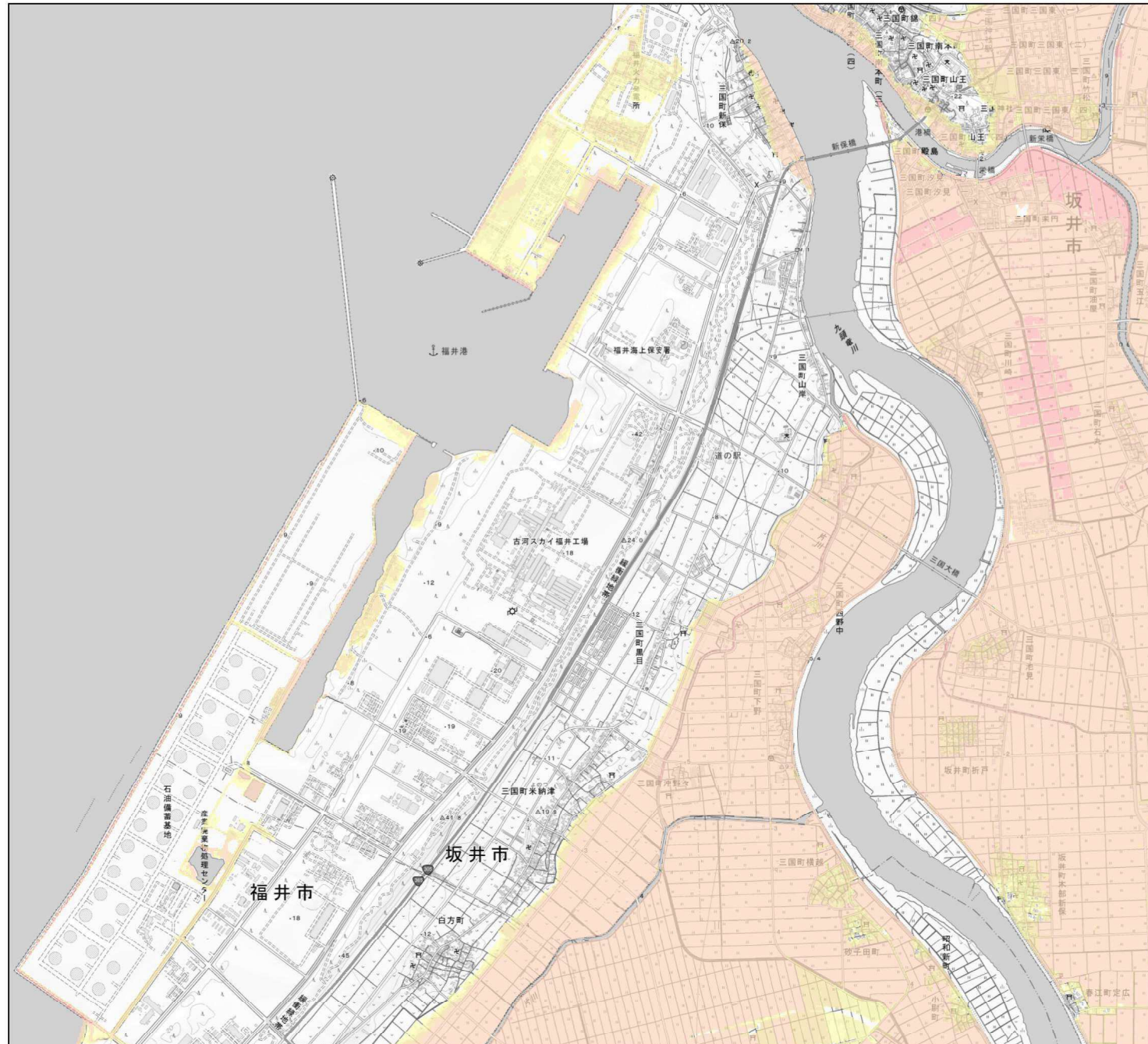
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかでない区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	加越沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa
	最大旋衝風速半径 : 75km
	移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

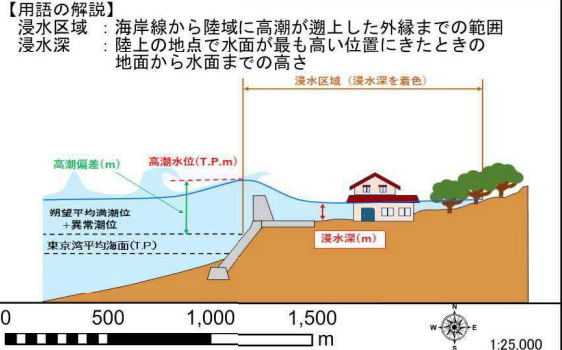
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

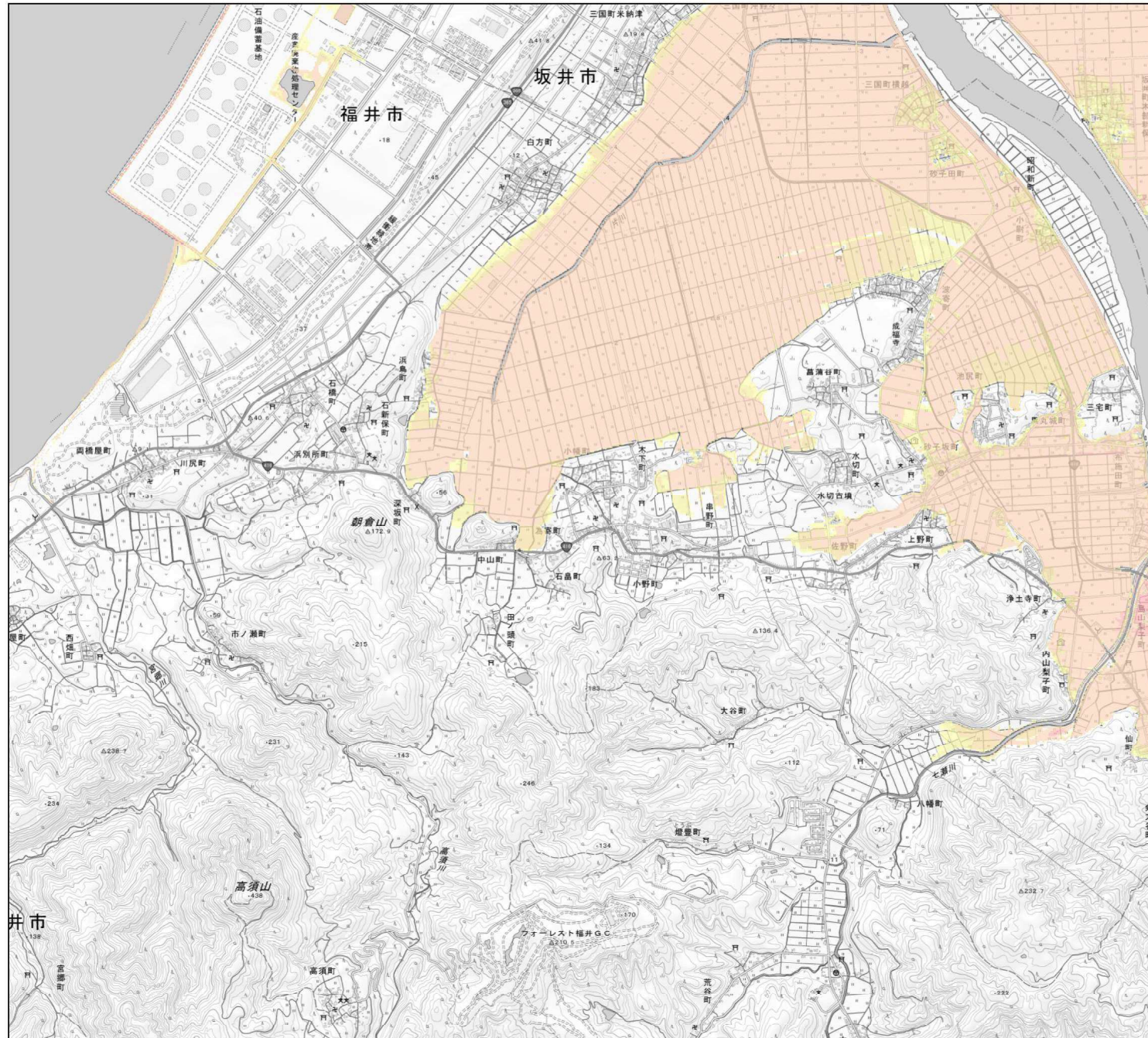
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	加越沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa 最大旋衝風速半径 : 75km 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。『測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 630』



最大浸水深

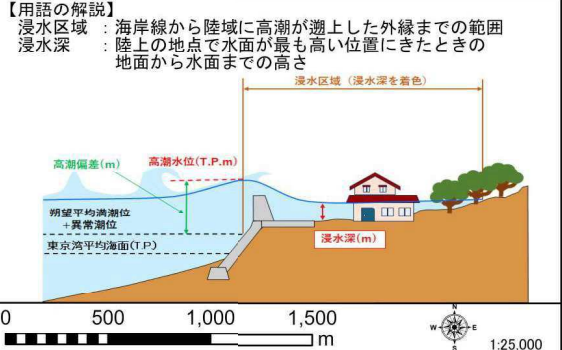
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

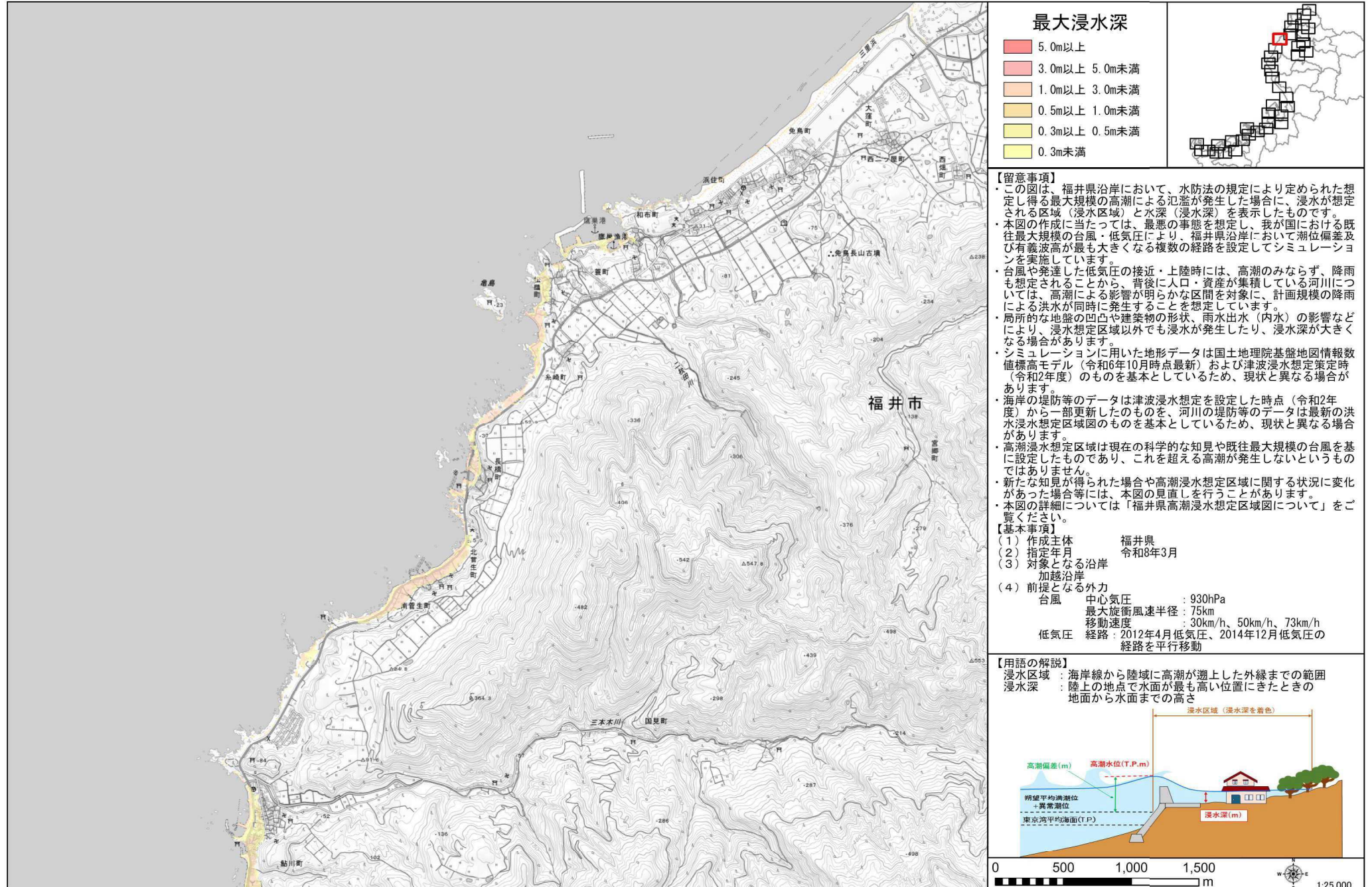
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きく複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋衝風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

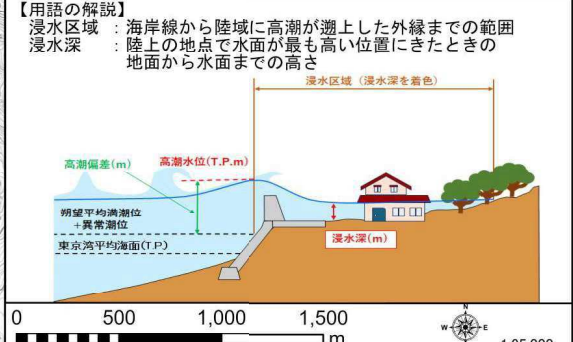
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

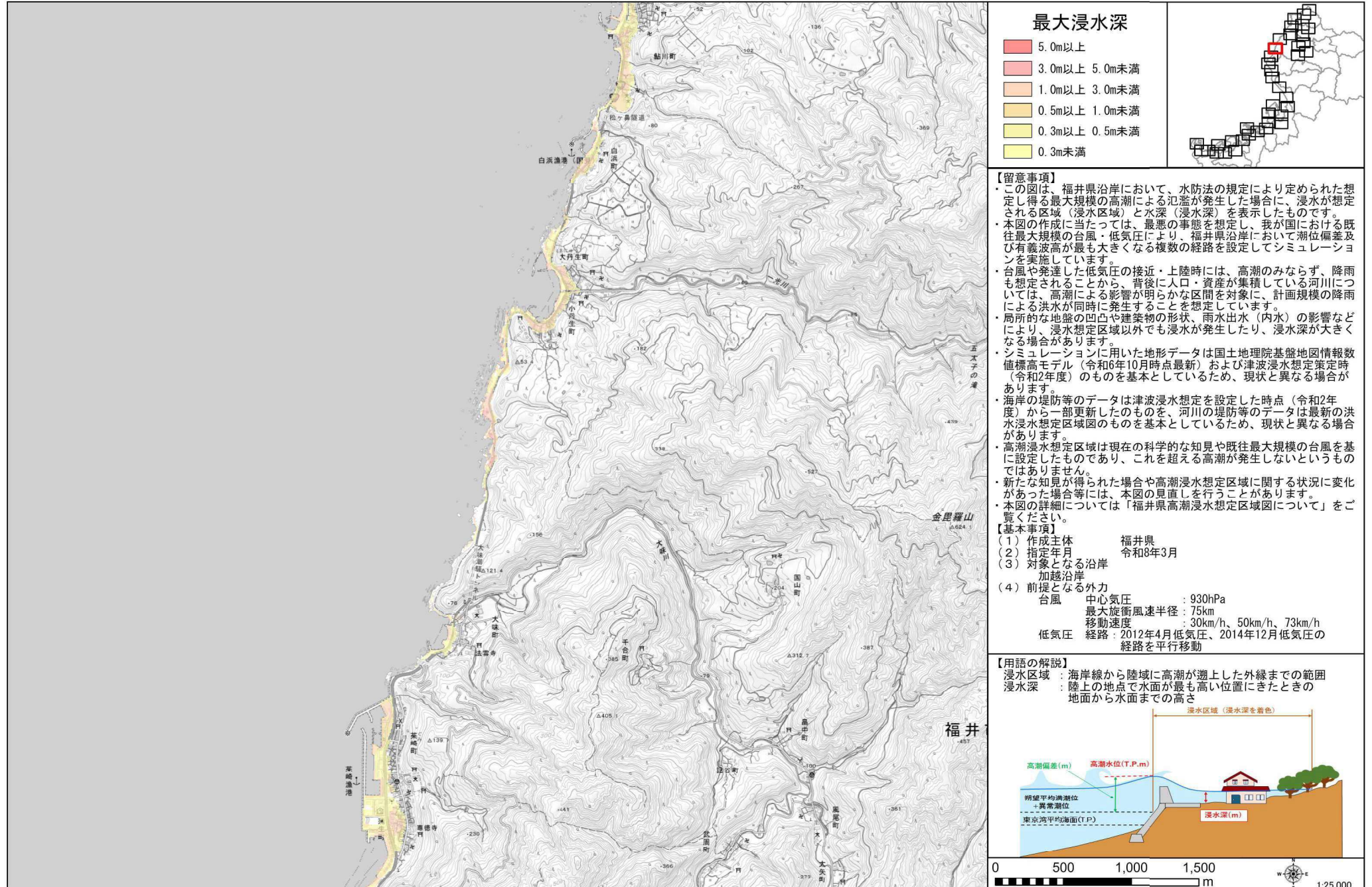
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 加越沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

5.0m以上
3.0m以上 5.0m未満
1.0m以上 3.0m未満
0.5m以上 1.0m未満
0.3m以上 0.5m未満
0.3m未満

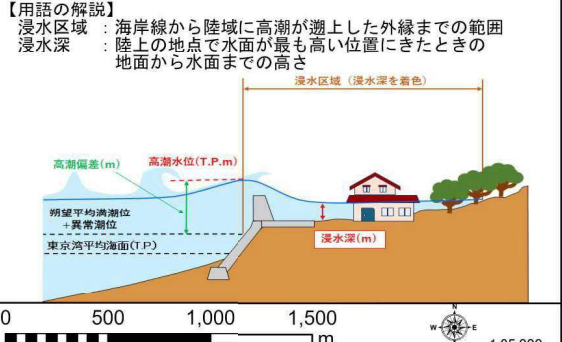


【留意事項】

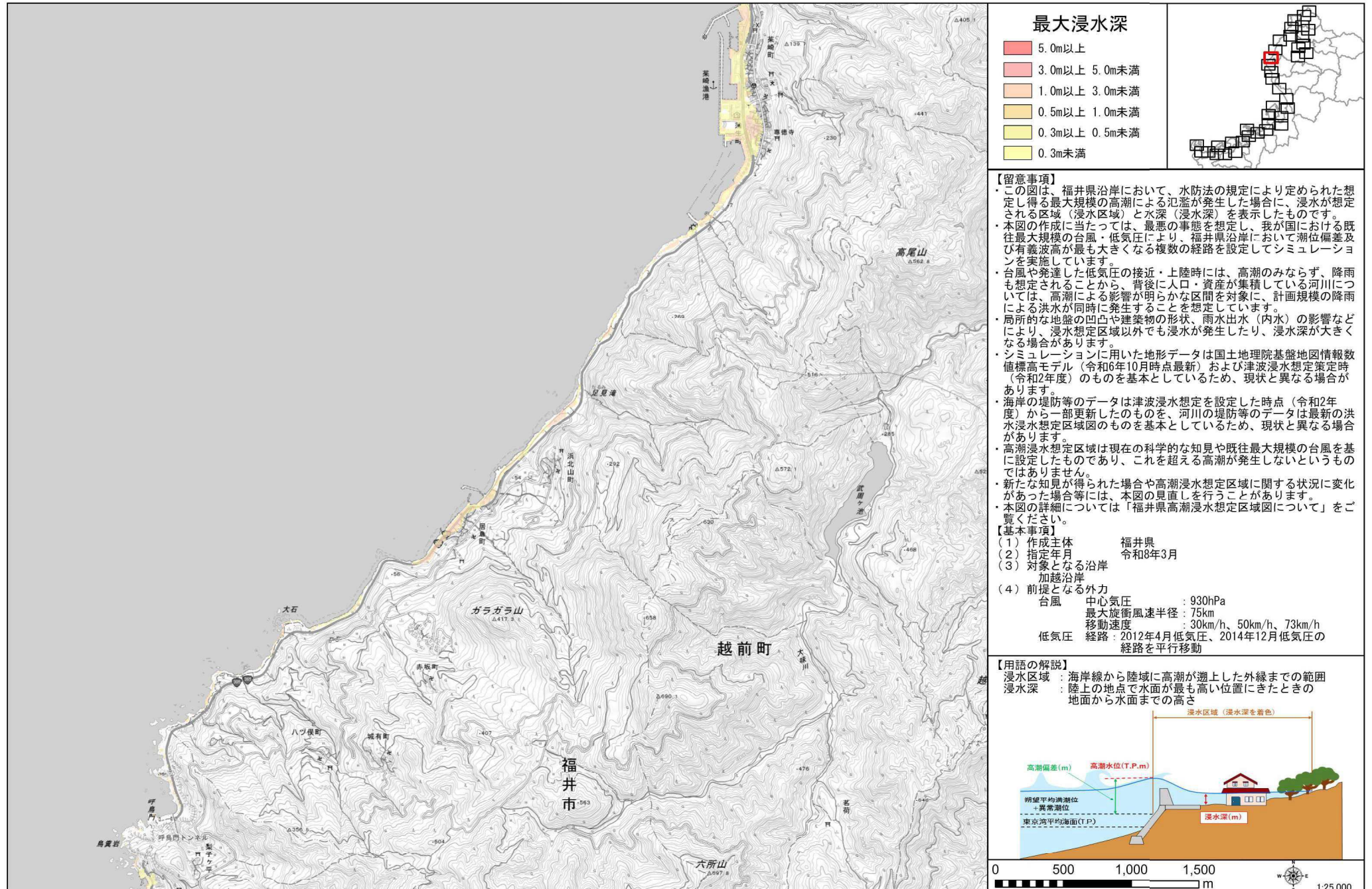
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基礎地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	加越沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧：930hPa 最大旋衝風速半径：75km 移動速度：30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

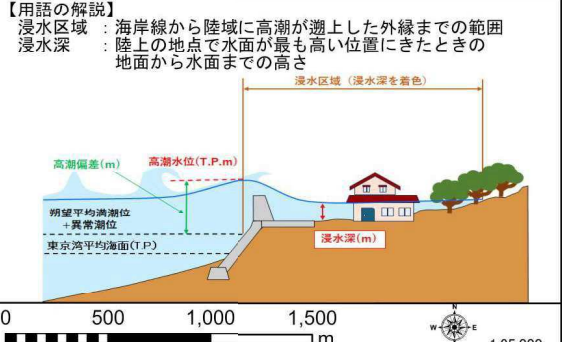


【留意事項】

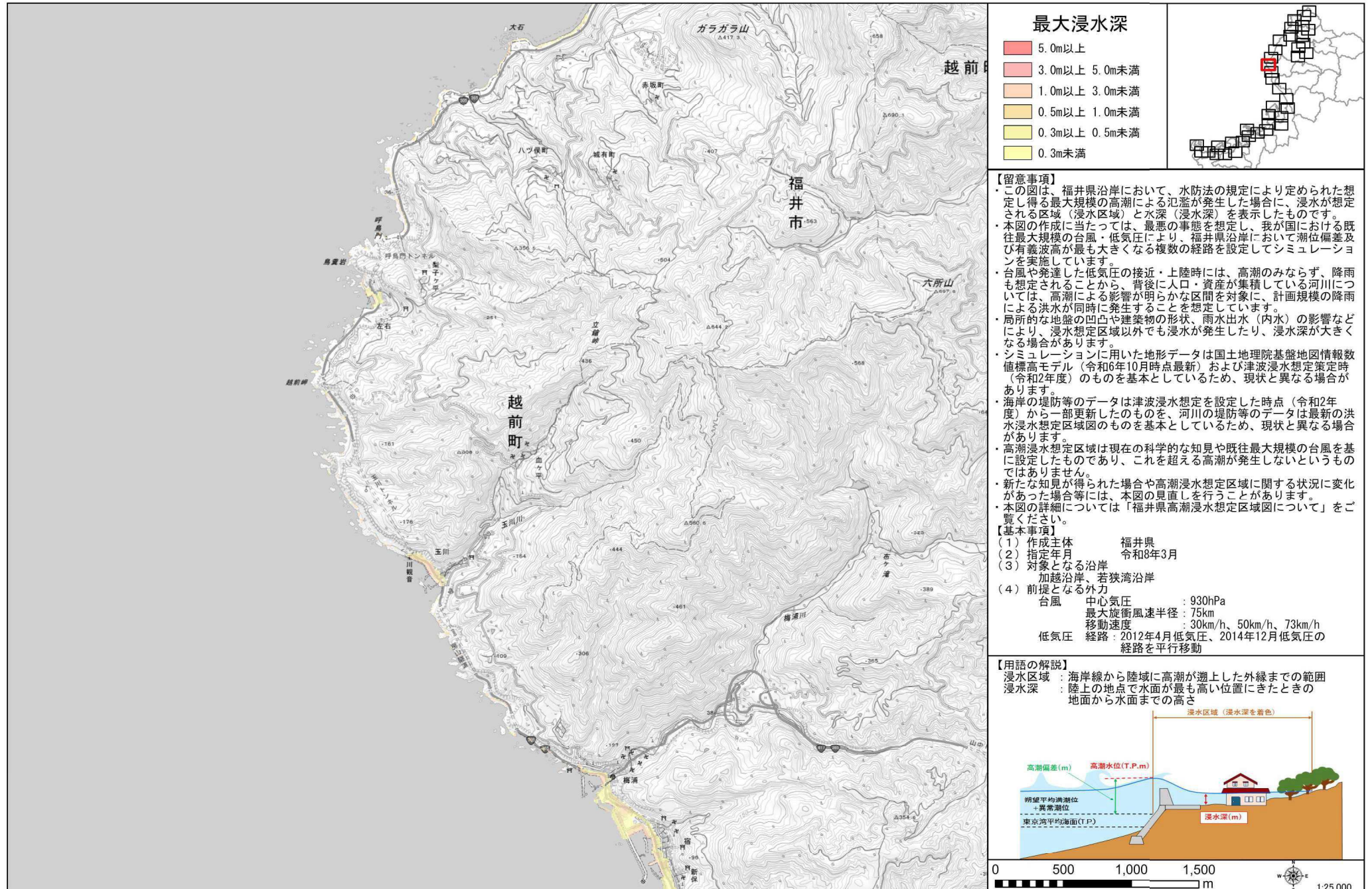
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したのものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	加越沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa 最大旋衝風速半径 : 75km 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。『測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 630』

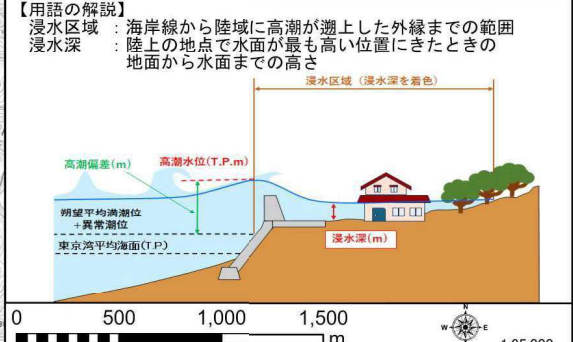


【留意事項】

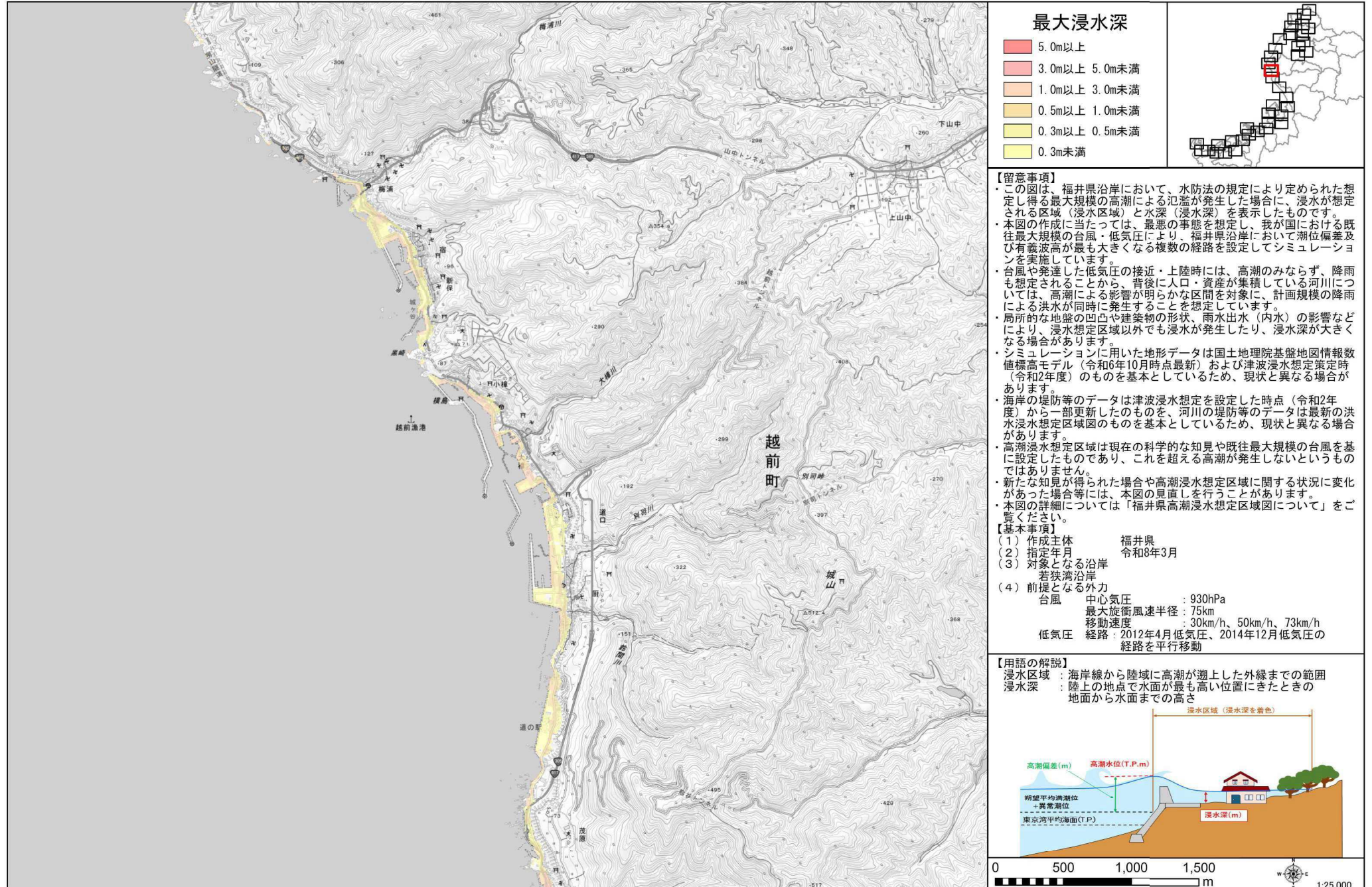
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸
加越沿岸、若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
台風 中心気圧 : 930hPa
最大旋衝風速半径 : 75km
移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 630」



最大浸水深

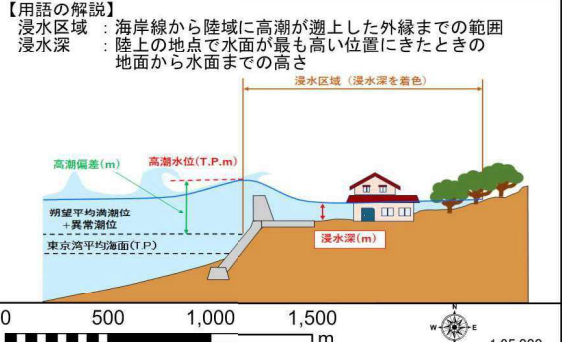
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

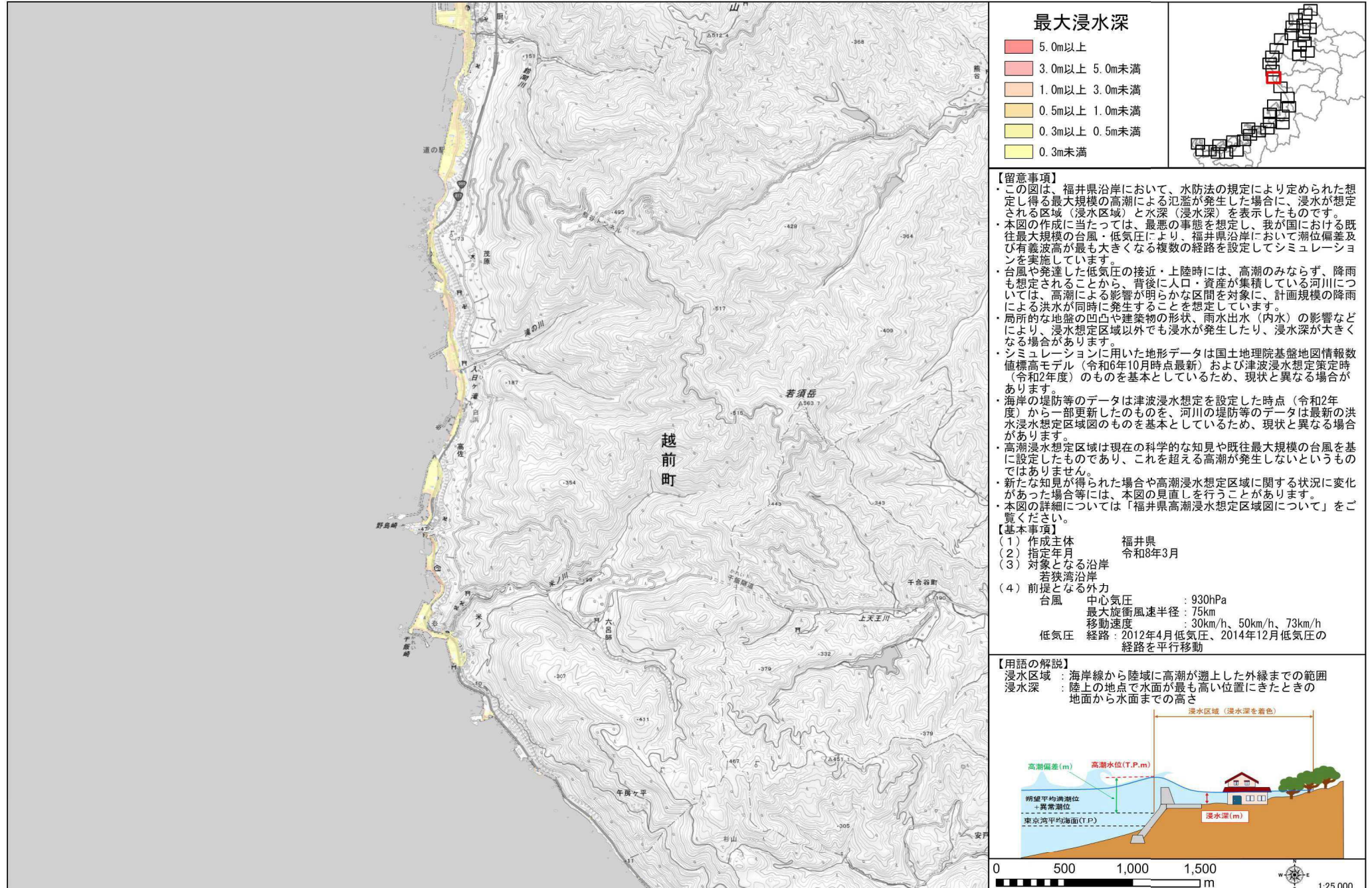
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

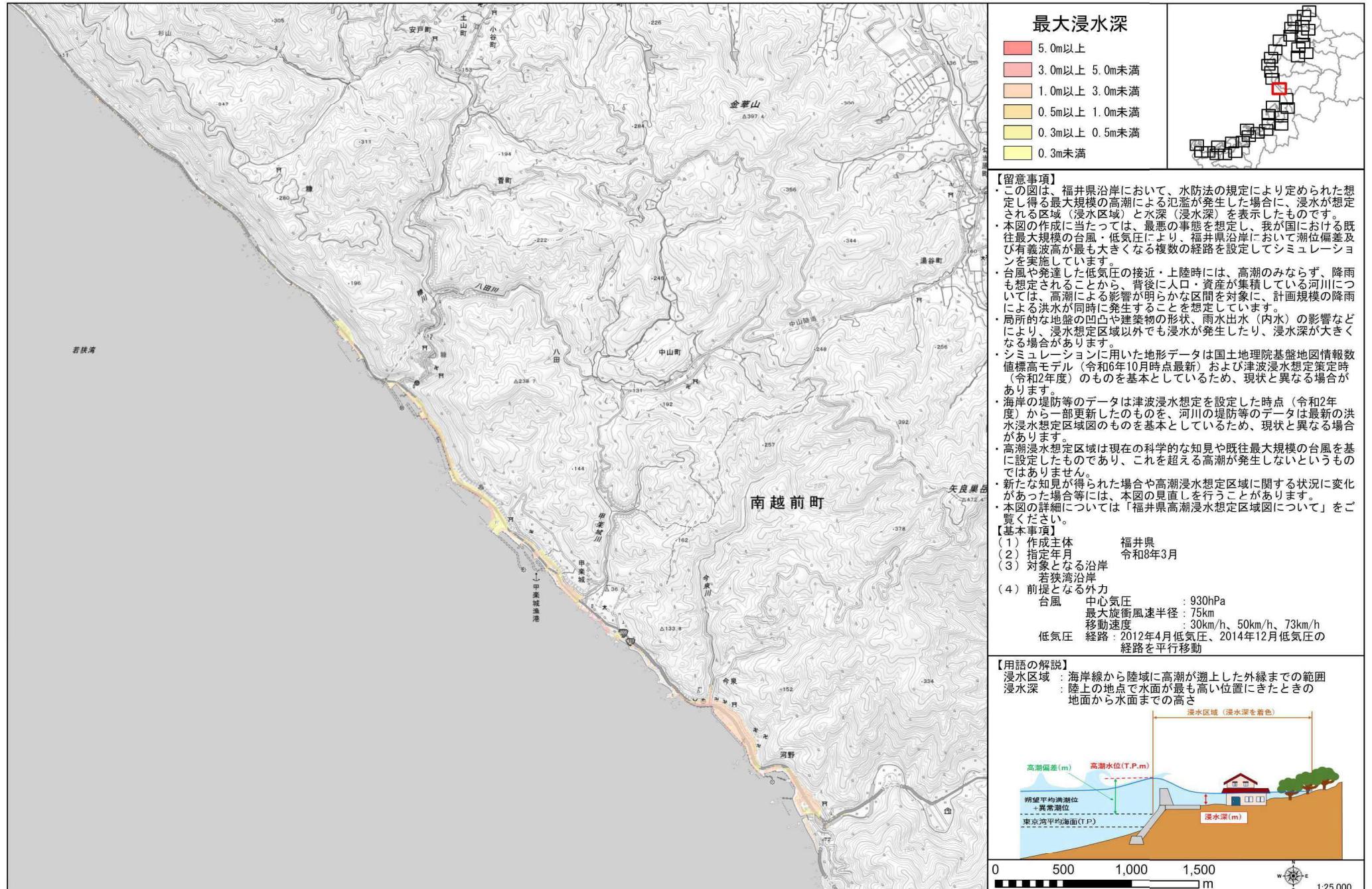
- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 630」



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

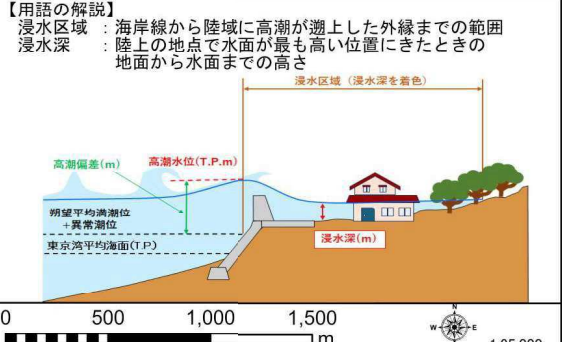
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

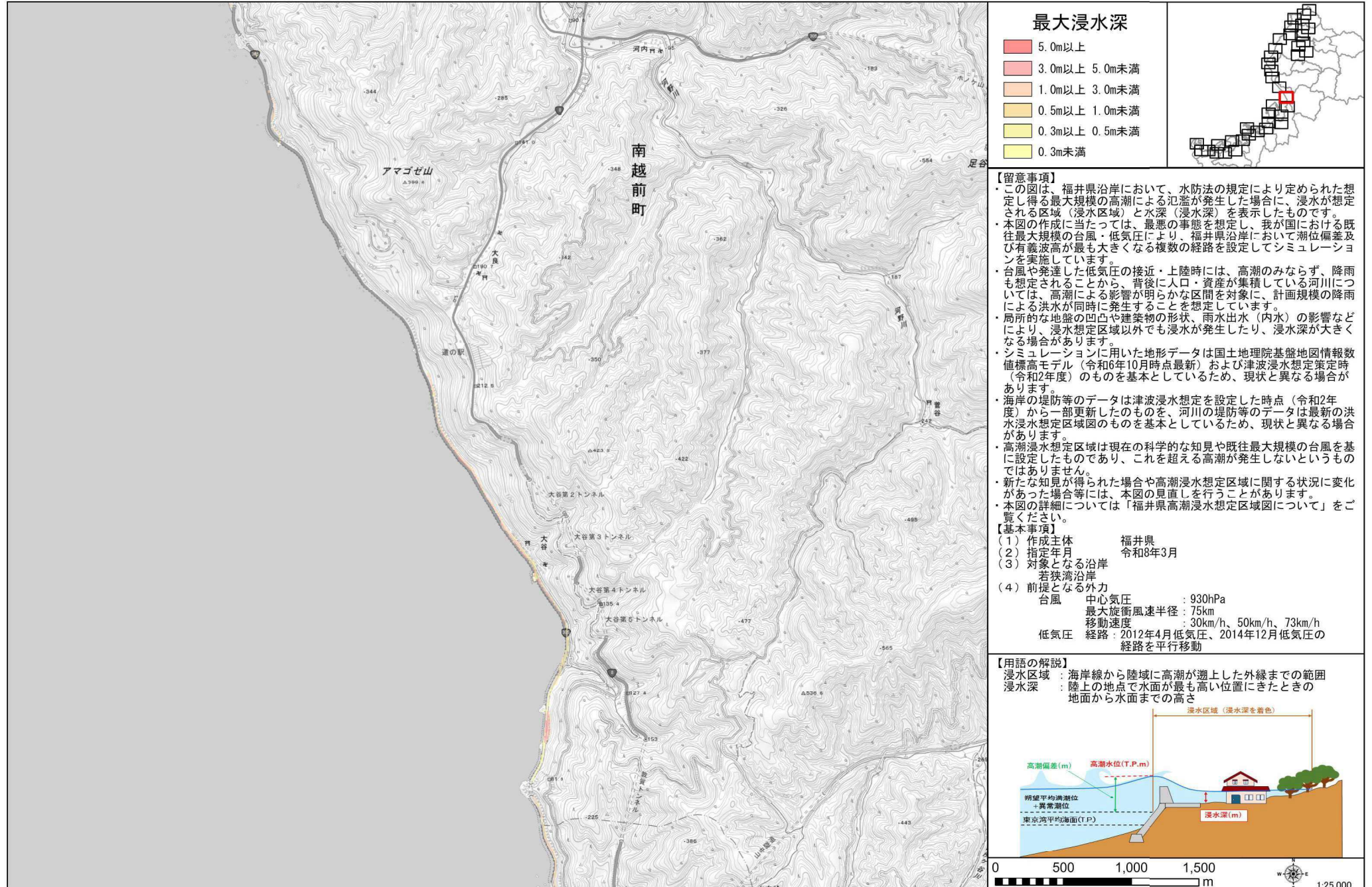
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧：930hPa 最大旋衝風速半径：75km 移動速度：30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



留意事項

- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

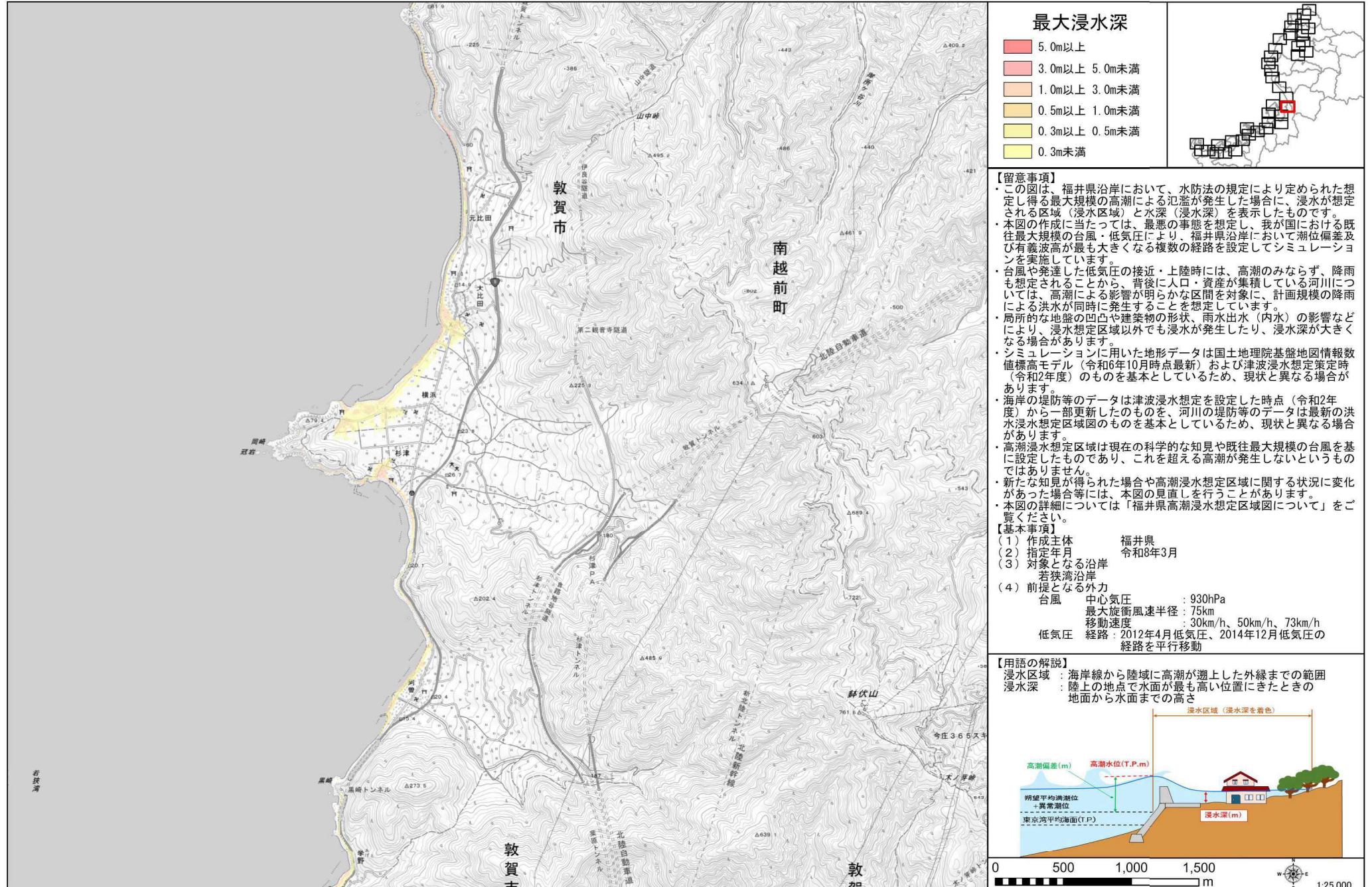
基本事項

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋衝風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動

用語の解説

浸水区域 : 海岸線から陸域に高潮が遡上した外縁までの範囲
 浸水深 : 陸上の地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 630」



最大浸水深

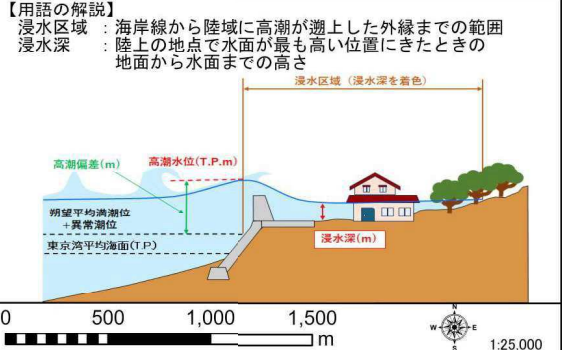
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

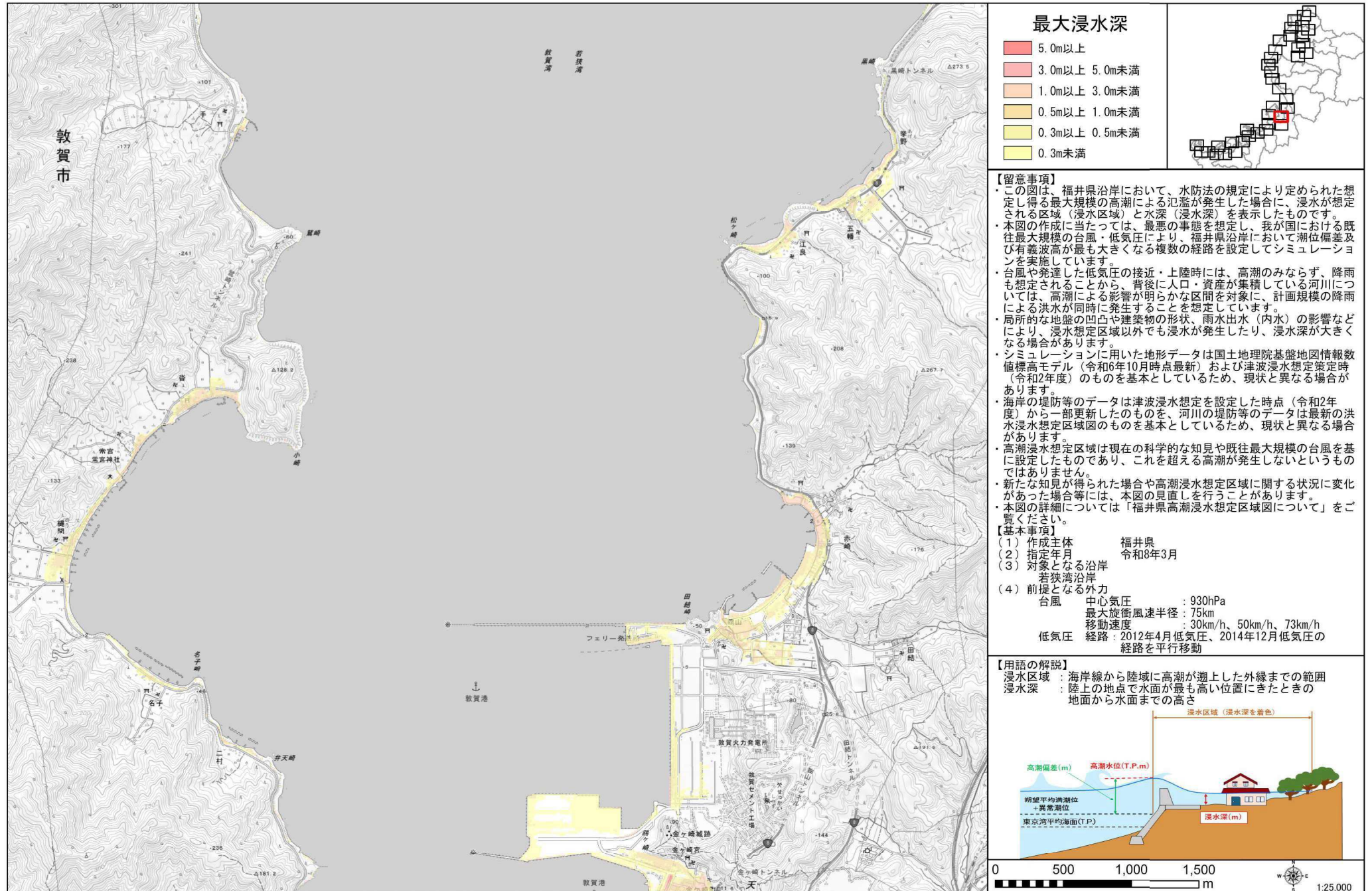
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

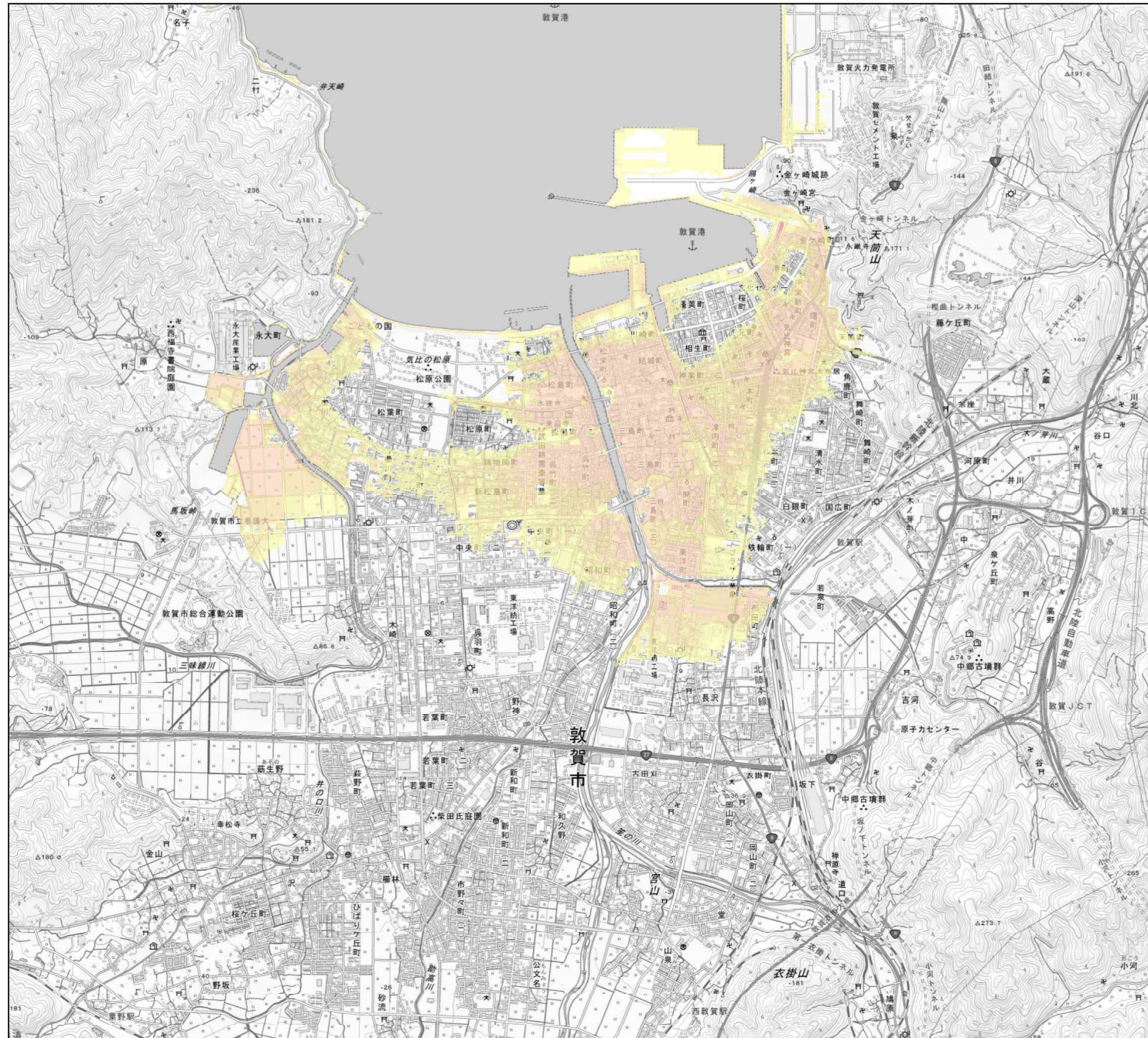


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

福井県高潮浸水想定区域図（浸水区域および浸水深）

敦賀市

図面番号：23 /39



最大浸水深

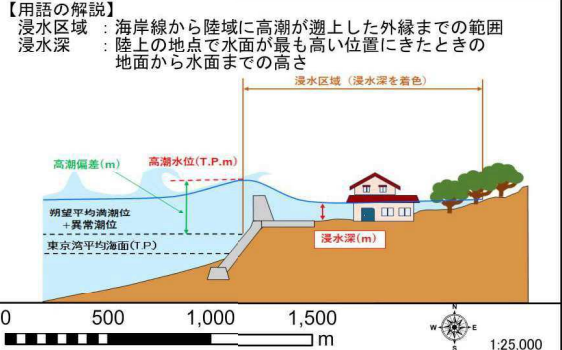
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

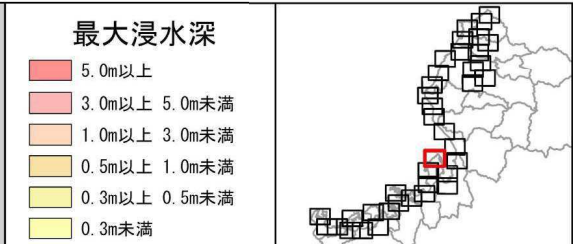
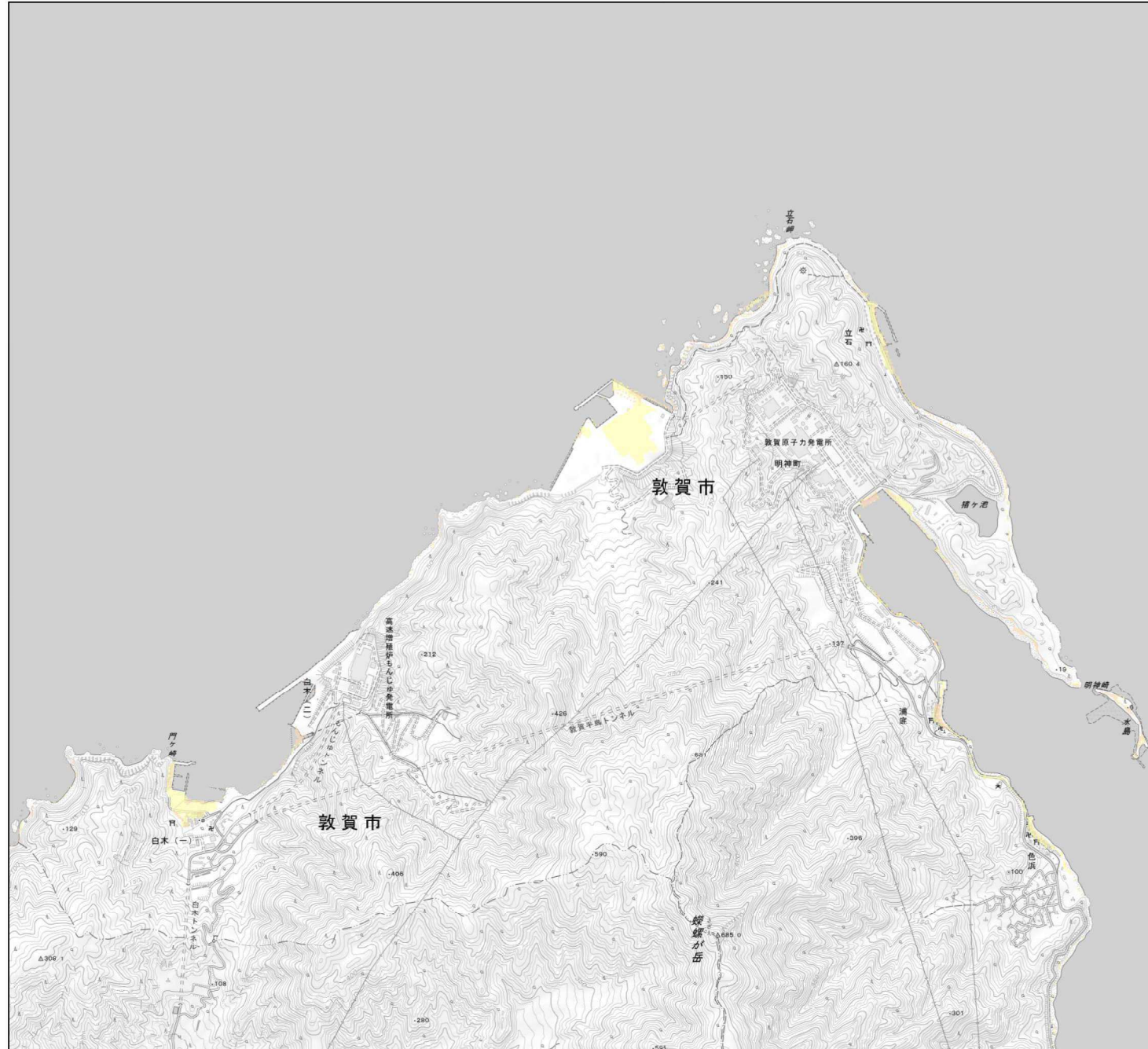
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを越える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸
若狭湾沿岸
若狭湾外力
- (4) 前提となる外力
台風 中心気圧 : 930hPa
最大旋風風速半径 : 75km
移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

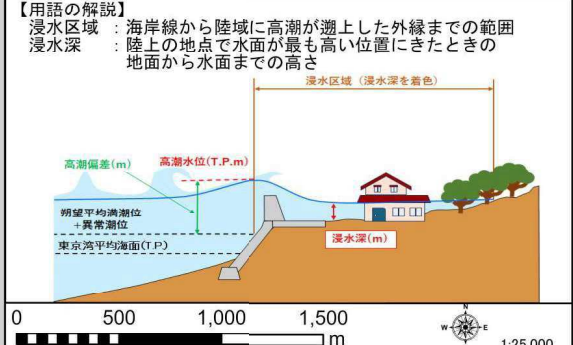


【留意事項】

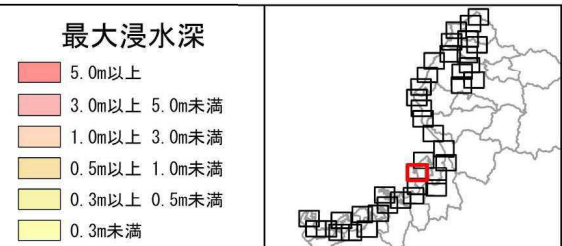
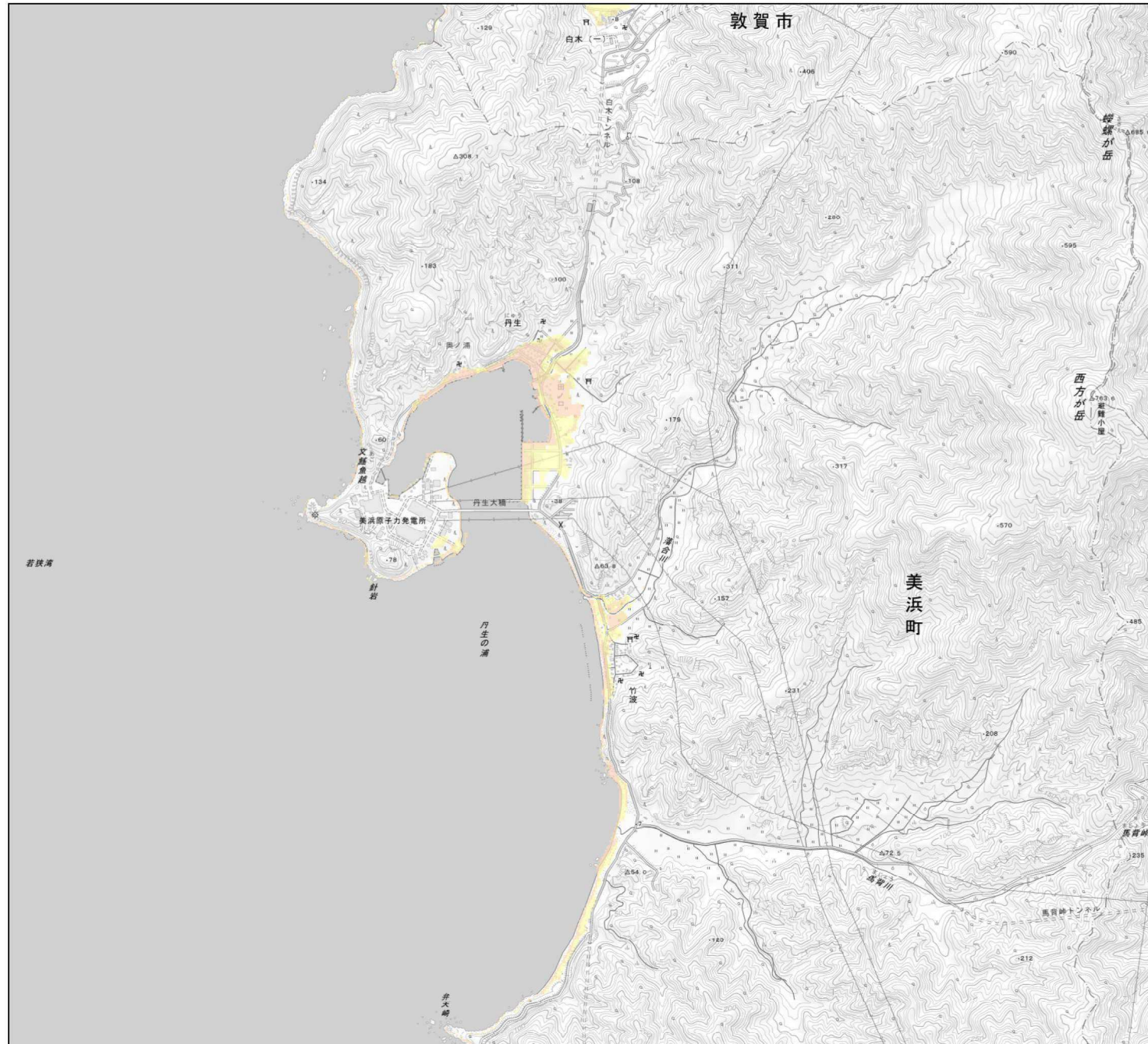
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧：930hPa 最大旋衝風速半径：75km 移動速度：30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

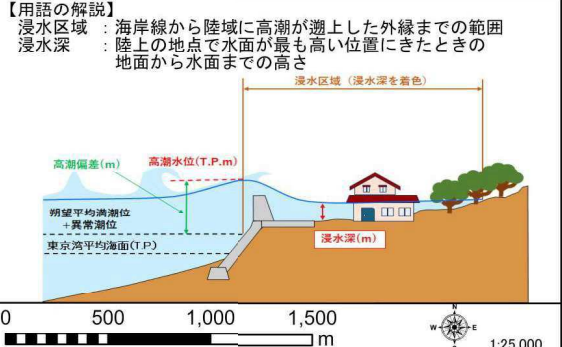


【留意事項】

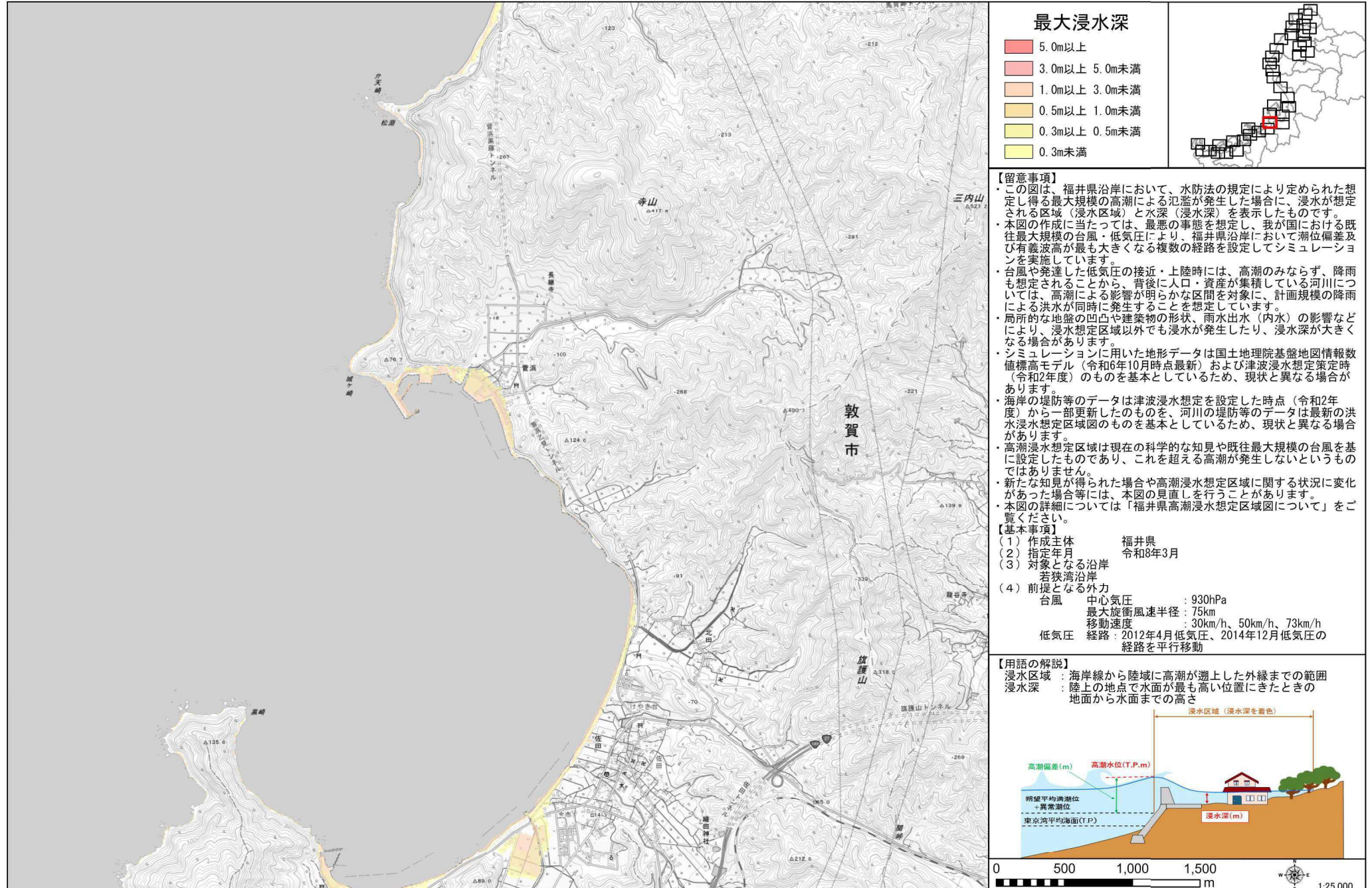
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

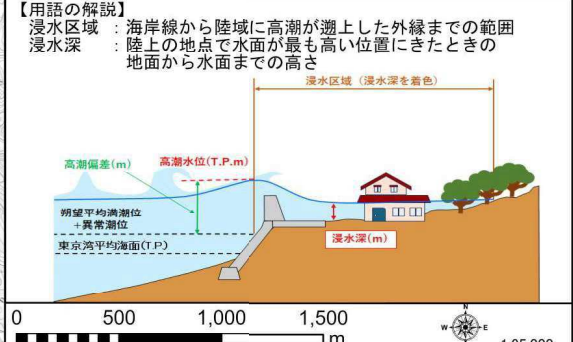
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

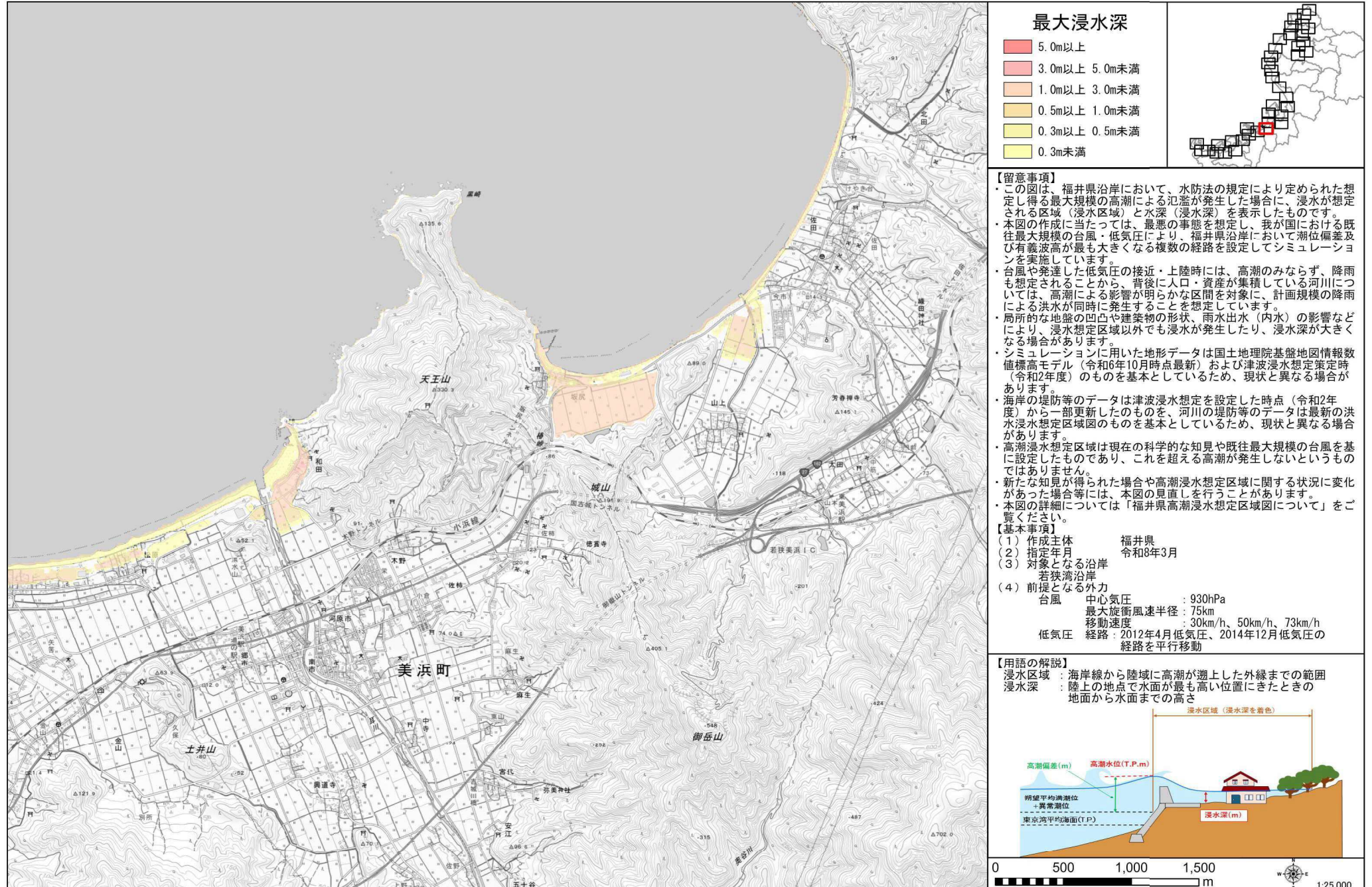
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

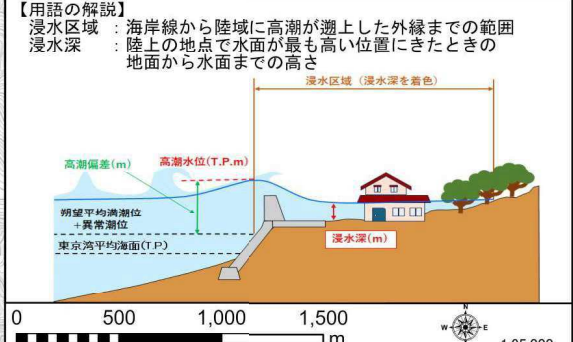
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

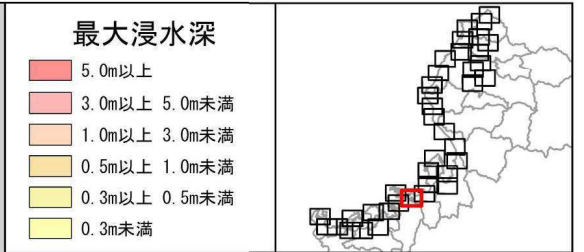
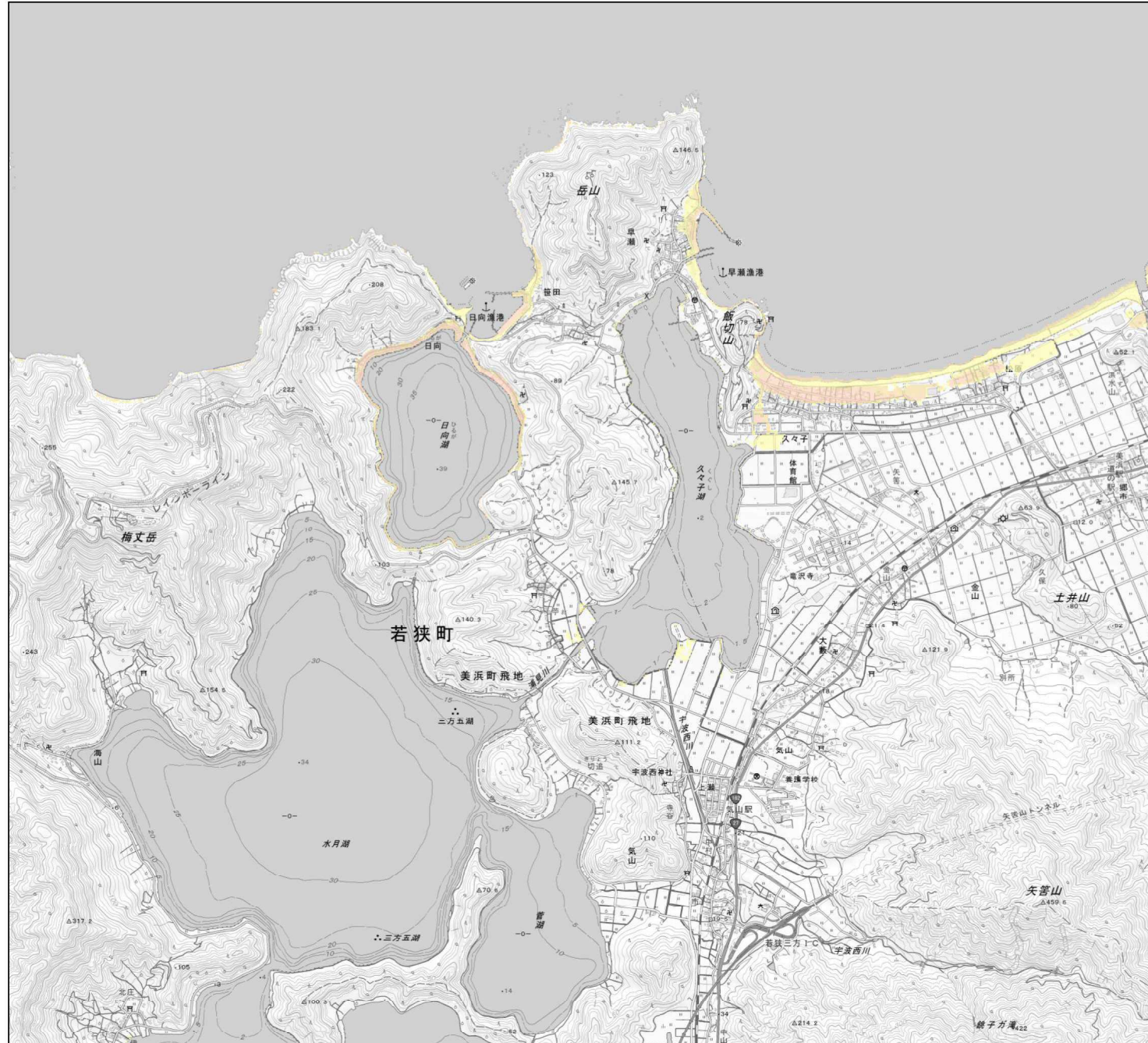
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

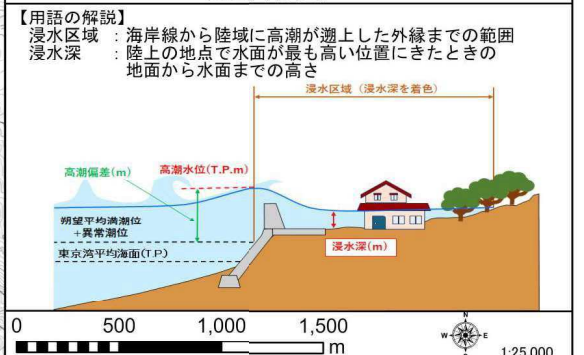


【留意事項】

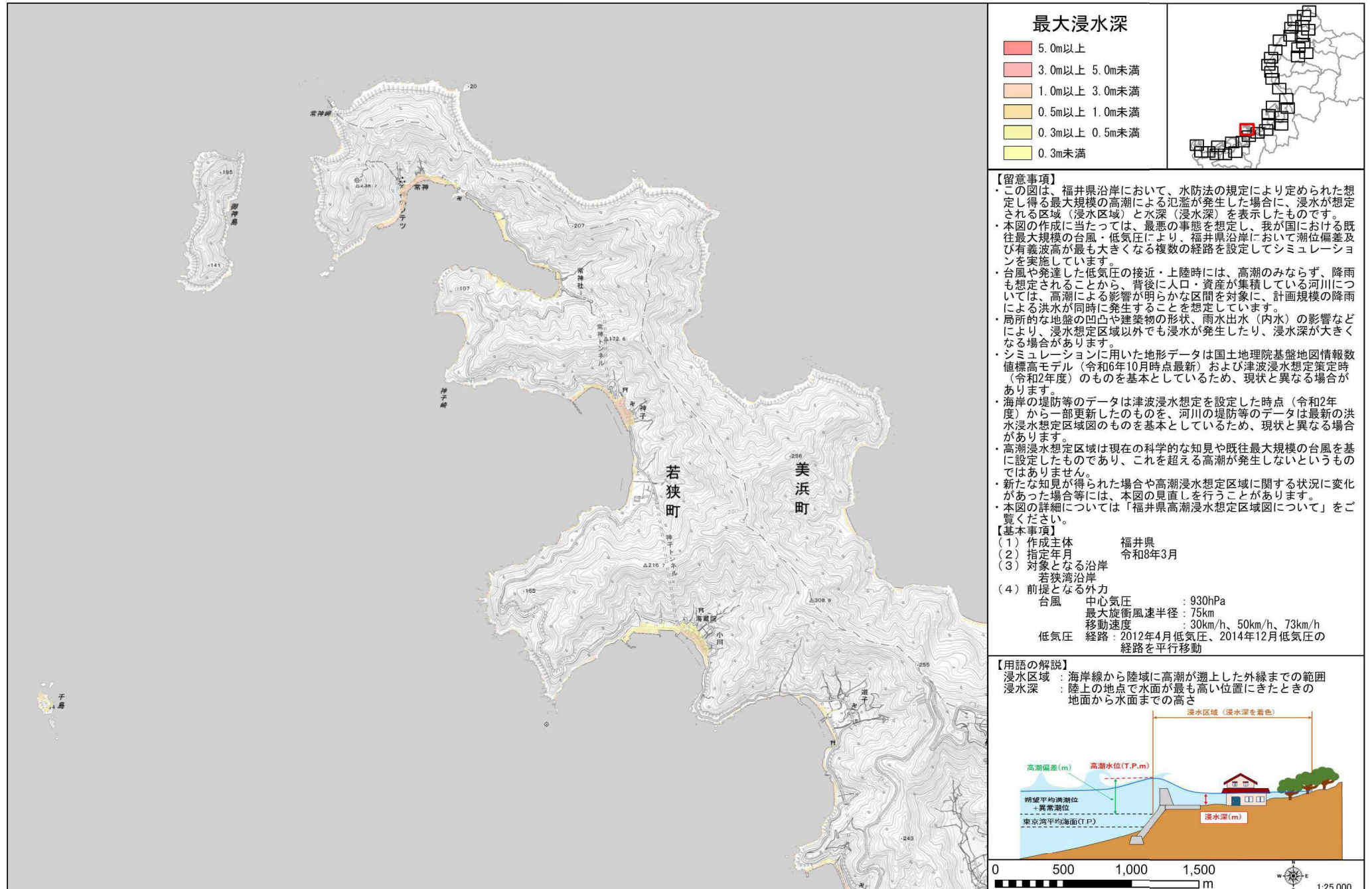
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa
	最大旋衝風速半径 : 75km
	移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

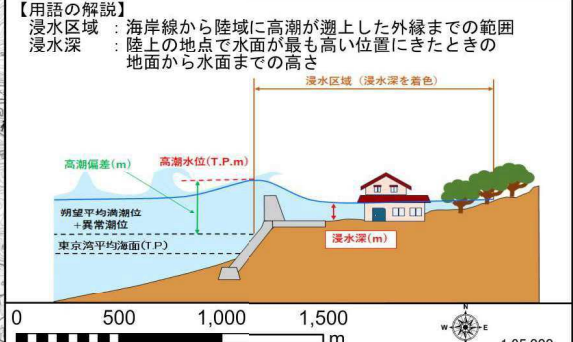
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

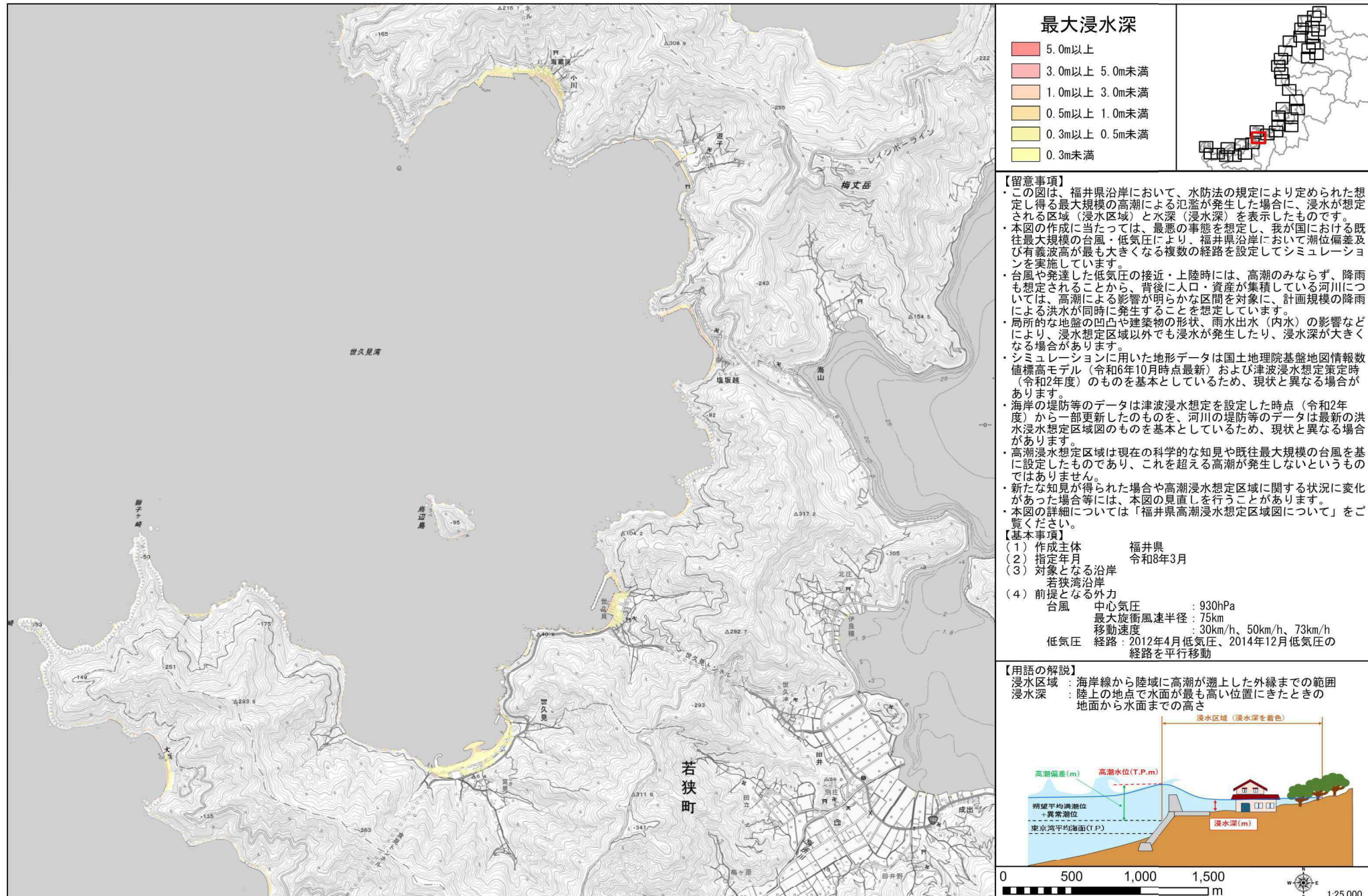
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを越える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動

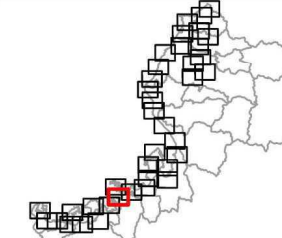


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 630」



最大浸水深

5.0m以上
3.0m以上 5.0m未満
1.0m以上 3.0m未満
0.5m以上 1.0m未満
0.3m以上 0.5m未満
0.3m未満

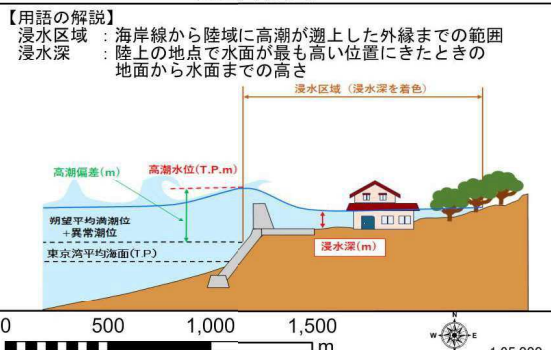


【留意事項】

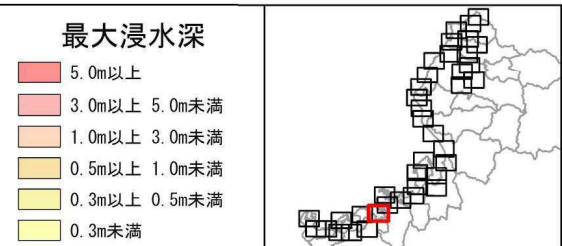
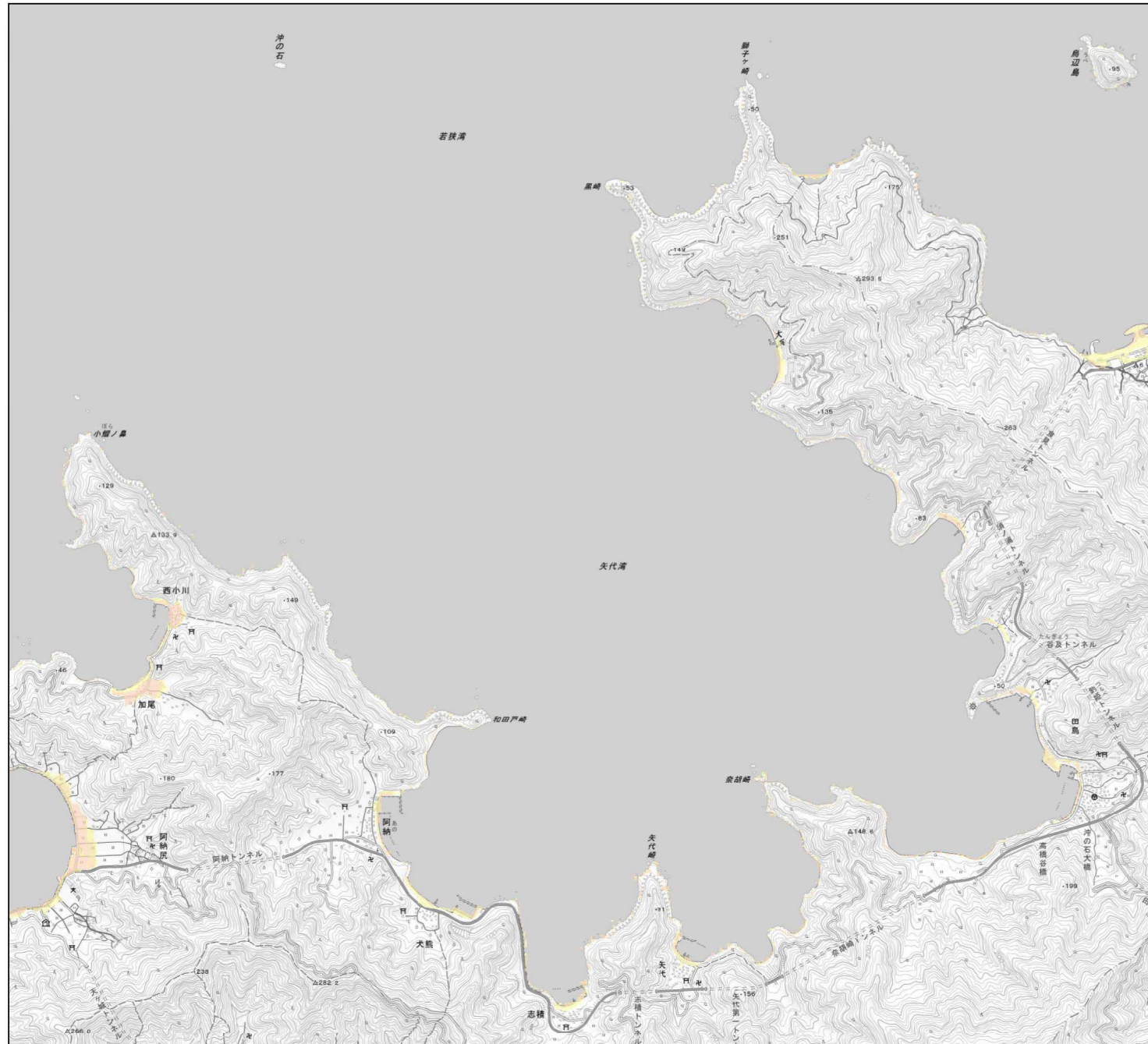
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa
	最大旋衝風速半径 : 75km
	移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

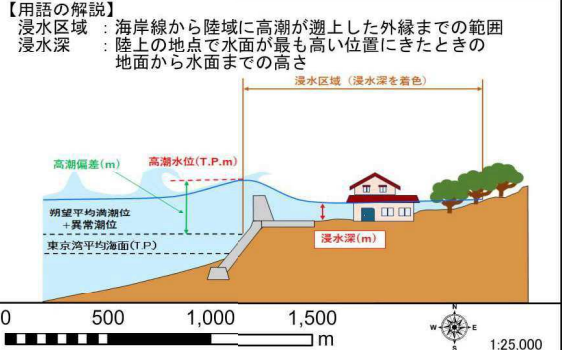


【留意事項】

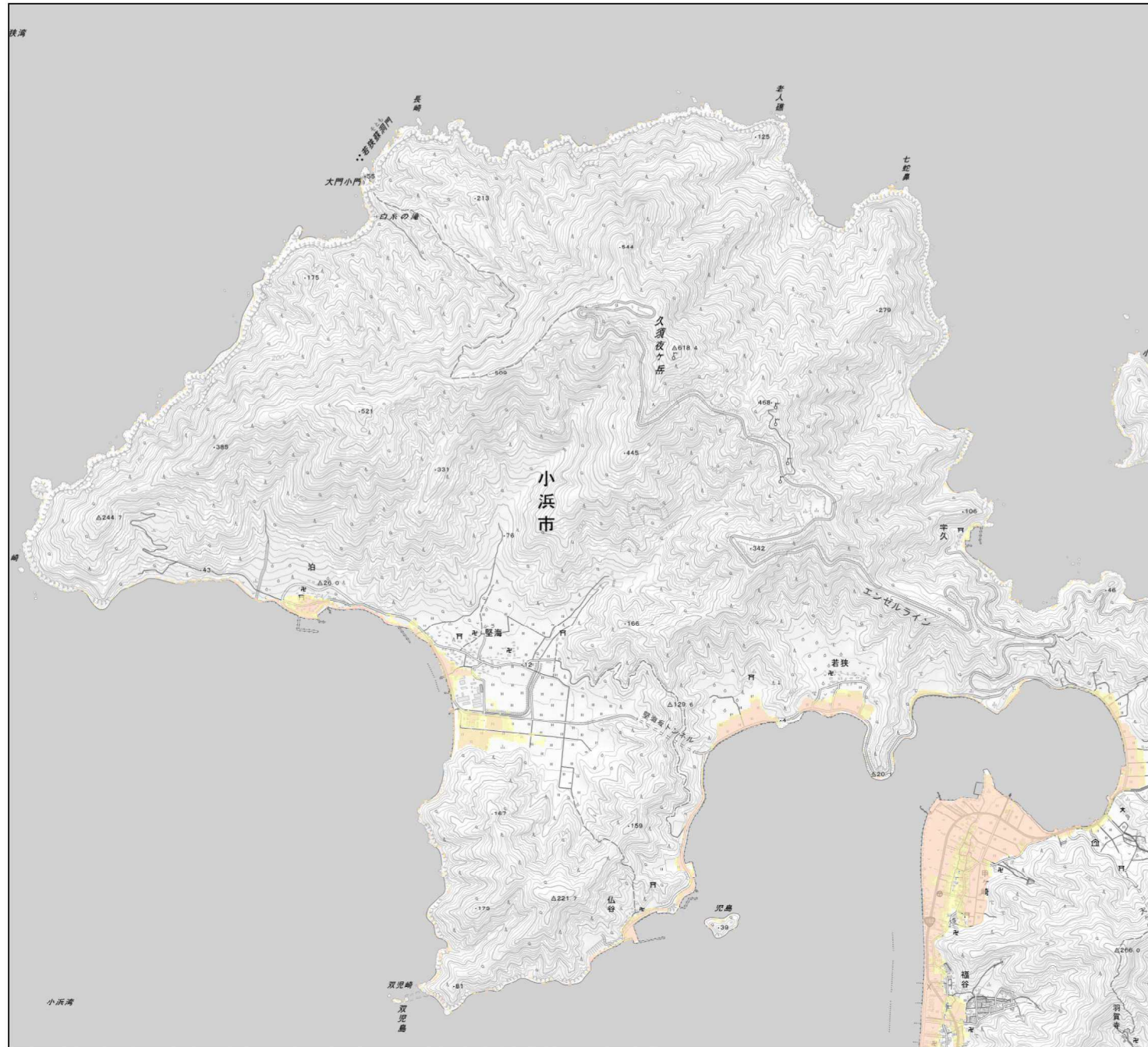
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



最大浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

- (1) 作成主体 福井県
- (2) 指定年月 令和8年3月
- (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
- (4) 前提となる外力
 - 台風 中心気圧 : 930hPa
 - 最大旋衝風速半径 : 75km
 - 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 - 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動

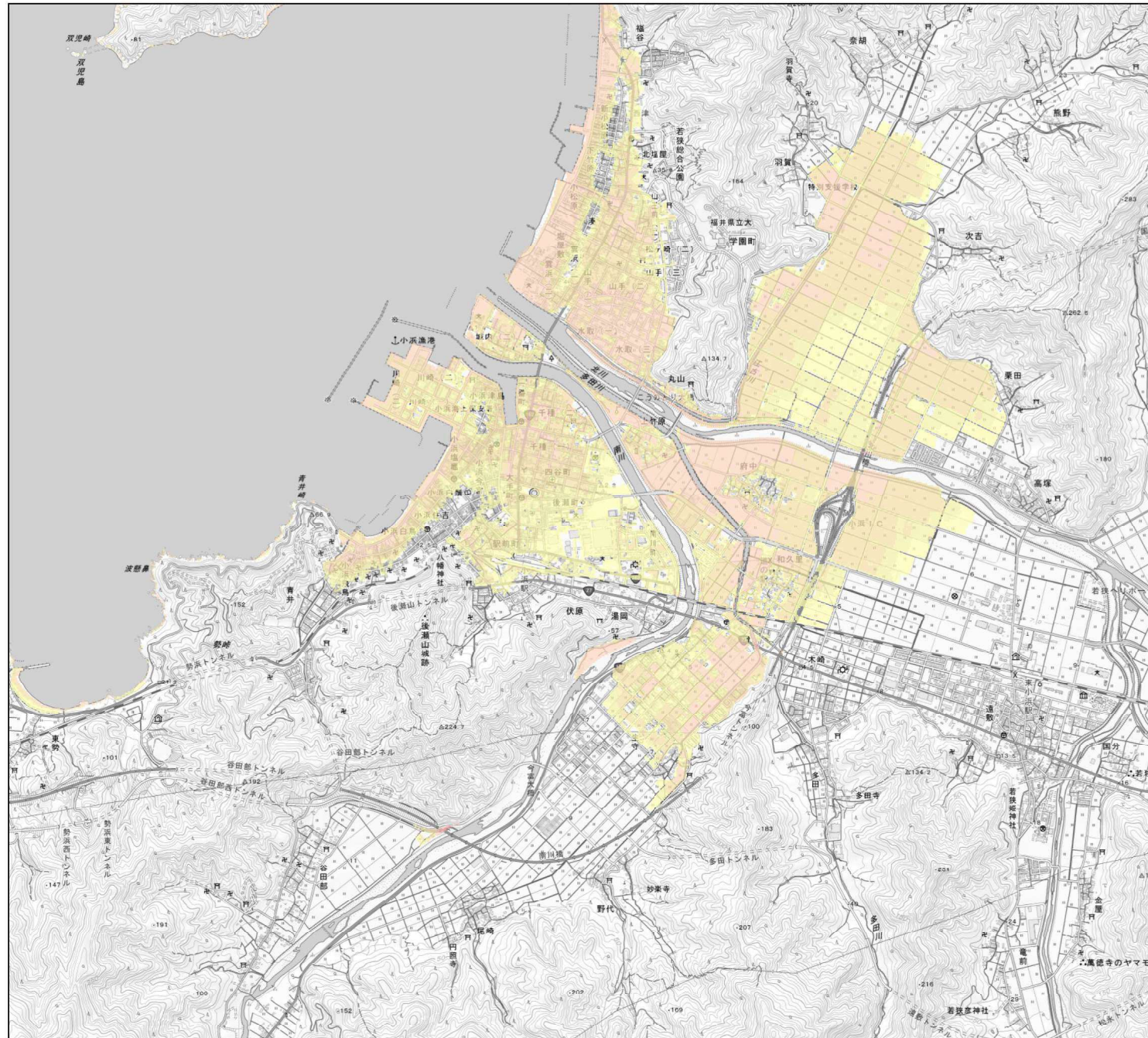
【用語の解説】

浸水区域：海岸線から陸域に高潮が遡上した外縁までの範囲
 浸水深：陸上の地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

0 500 1,000 1,500 m

1:25,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7Jhs 630」



最大浸水深

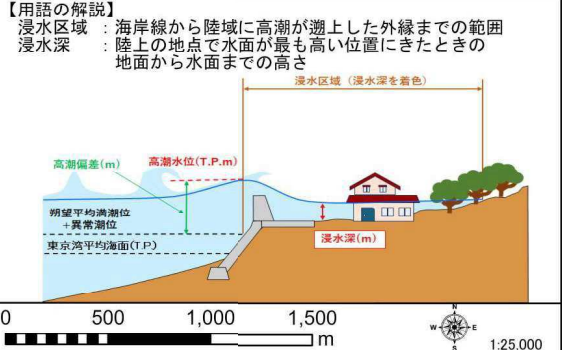
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.3m未満

【留意事項】

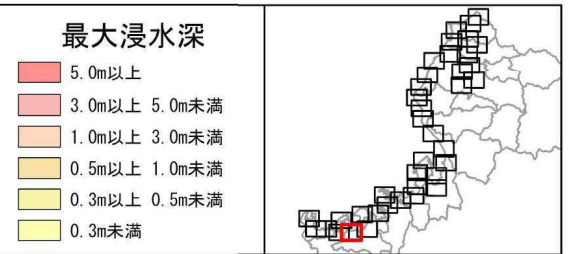
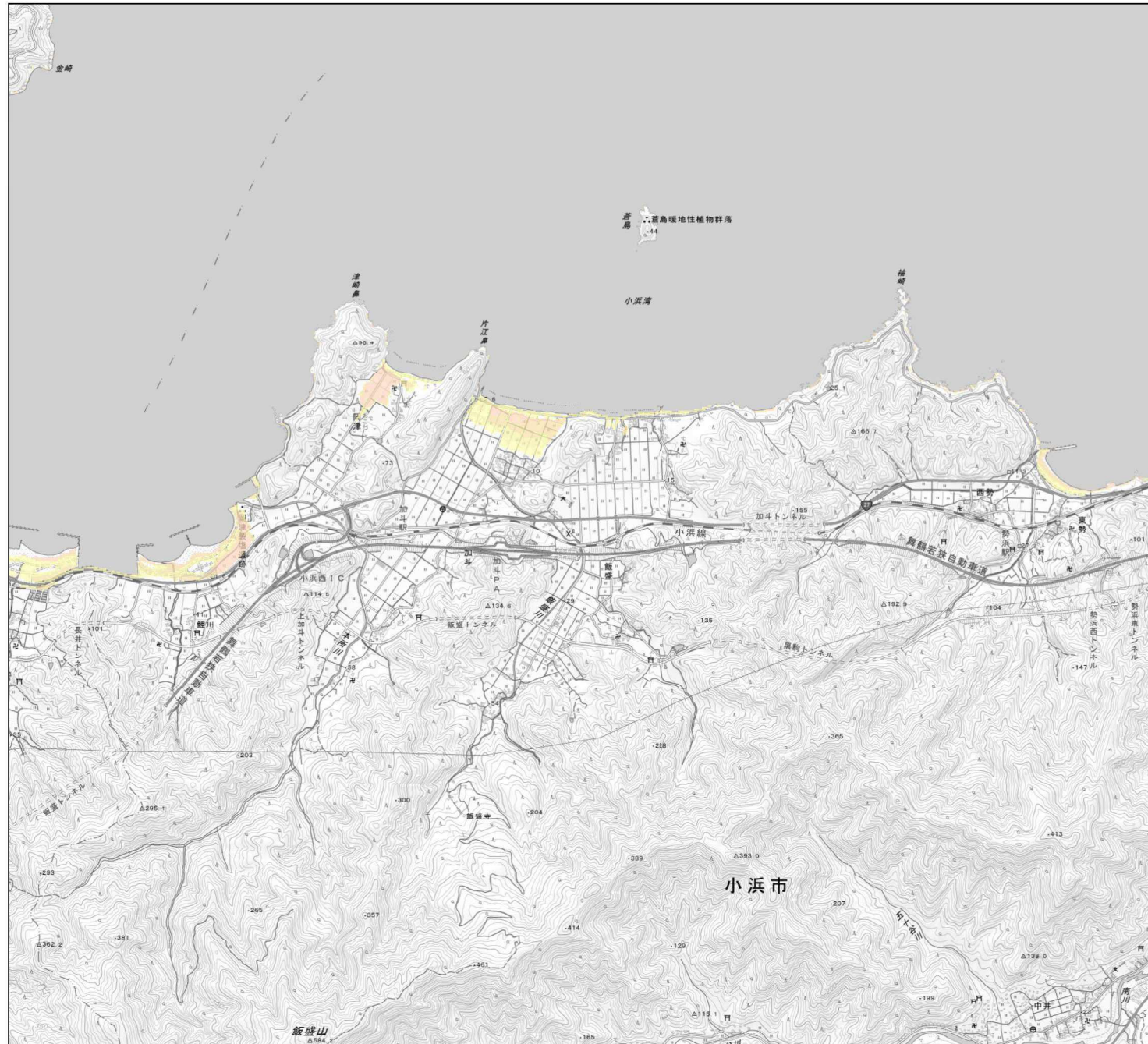
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基礎地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧：930hPa 最大旋衝風速半径：75km 移動速度：30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

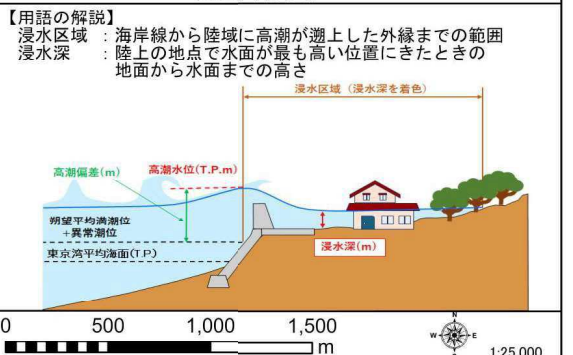


【留意事項】

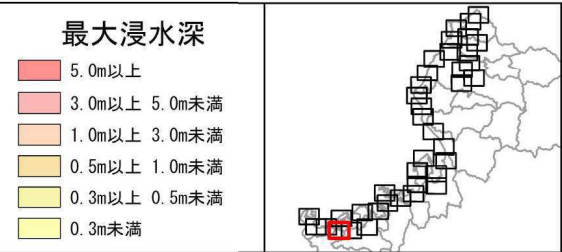
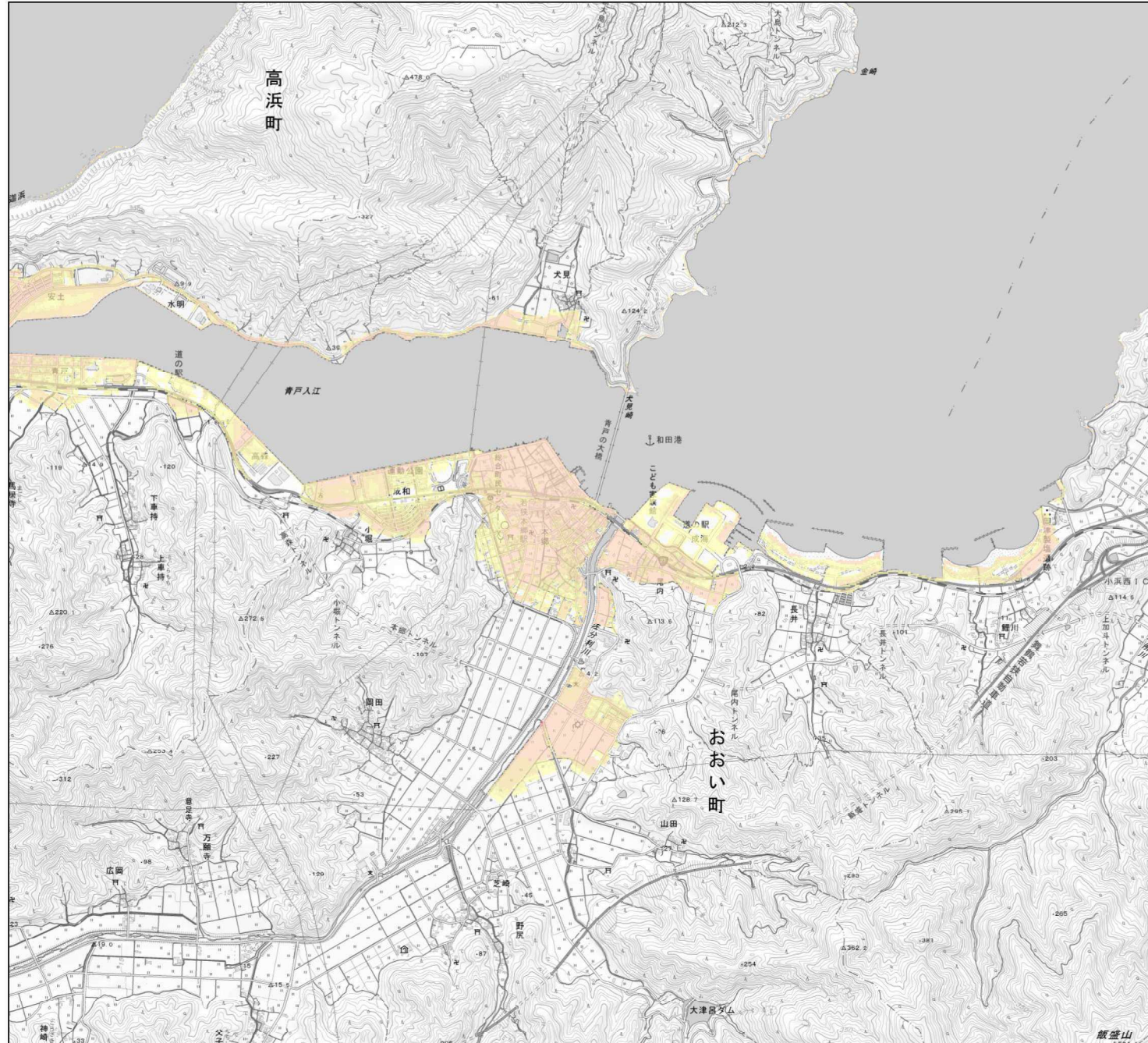
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体 福井県
 (2) 指定年月 令和8年3月
 (3) 対象となる沿岸 若狭湾沿岸
 (4) 前提となる外力
 台風 中心気圧 : 930hPa
 最大旋衝風速半径 : 75km
 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
 低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

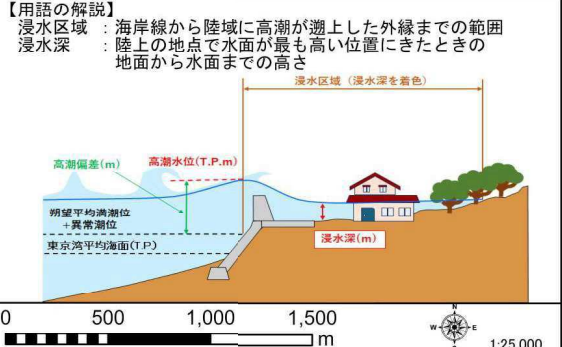


【留意事項】

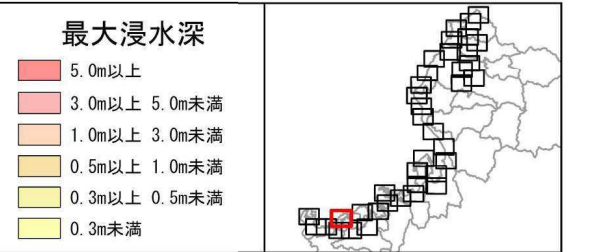
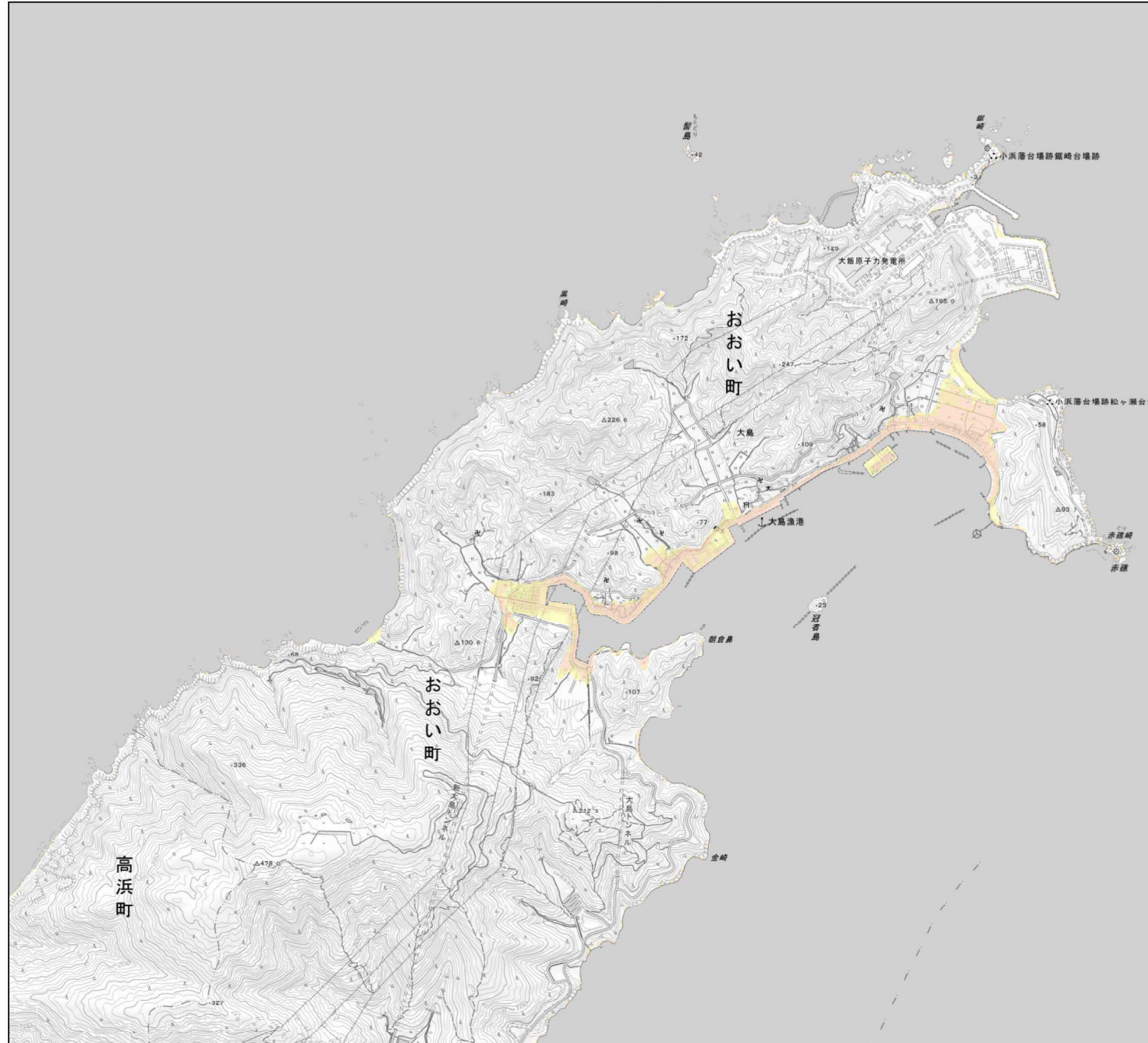
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	台風
	中心気圧 : 930hPa
	最大旋衝風速半径 : 75km
	移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
	低気圧 経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

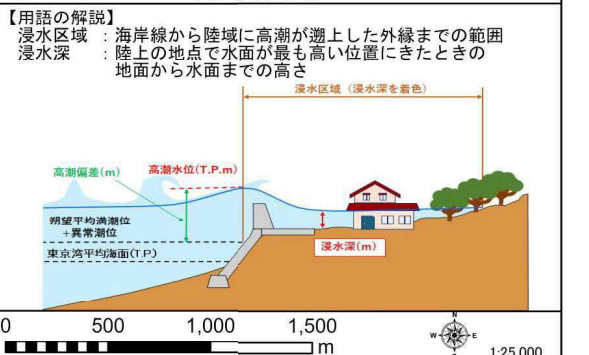


【留意事項】

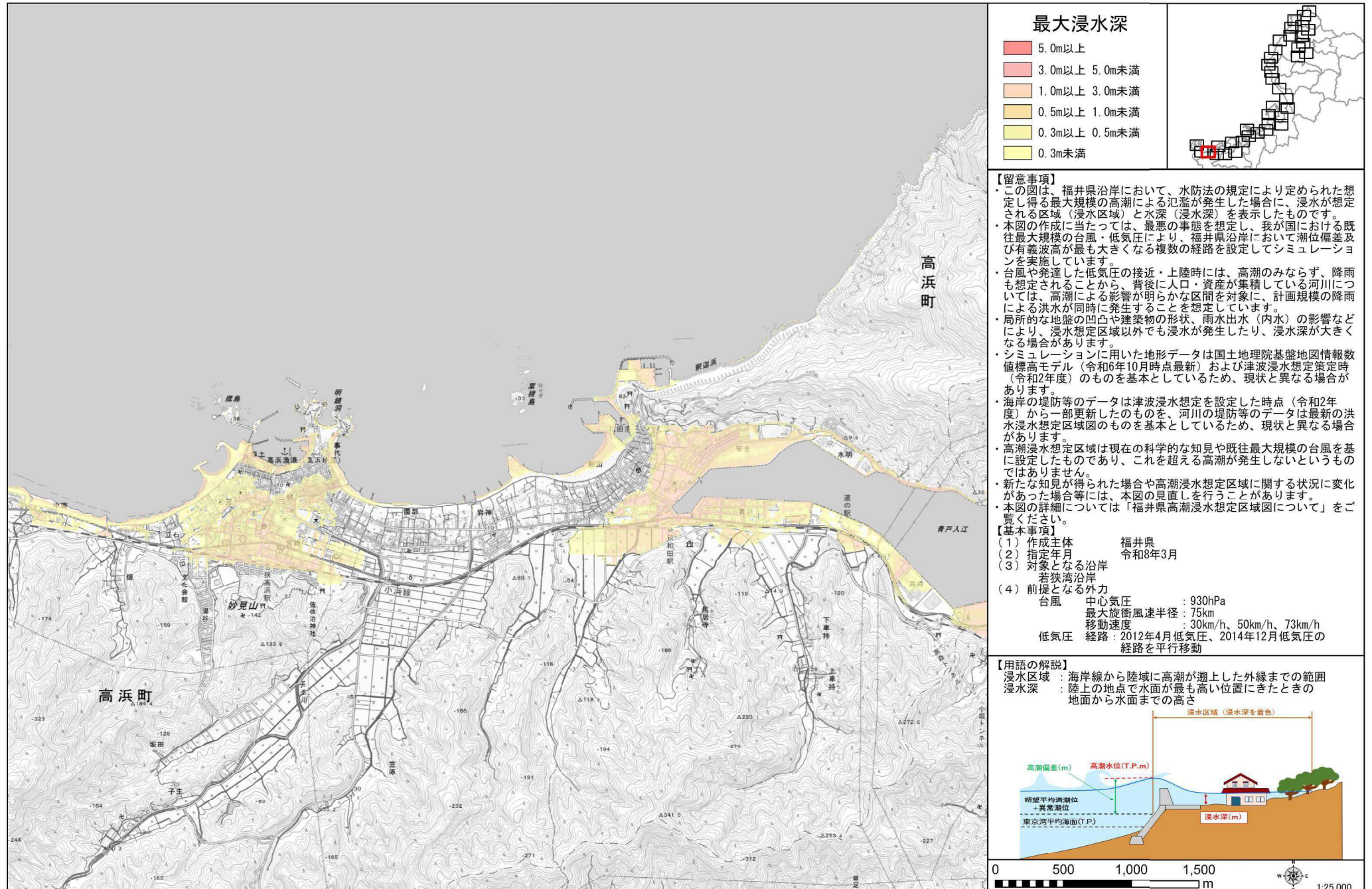
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを越える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧：930hPa 最大旋衝風速半径：75km 移動速度：30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」



【留意事項】

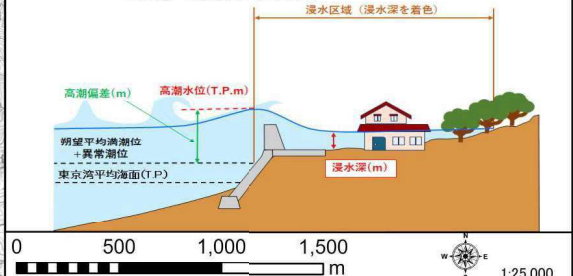
- この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- 本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- 台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- 局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- 高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- 新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- 本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

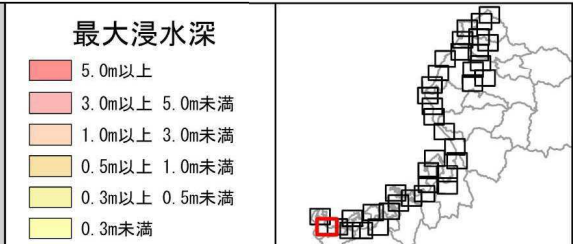
(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa 最大旋衝風速半径 : 75km 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動

【用語の解説】

浸水区域 : 海岸線から陸域に高潮が遡上した外縁までの範囲
 浸水深 : 陸上の地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

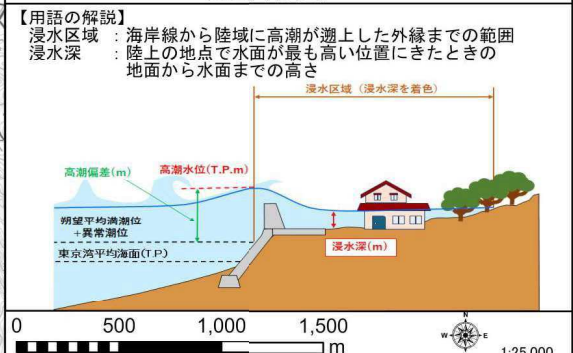


【留意事項】

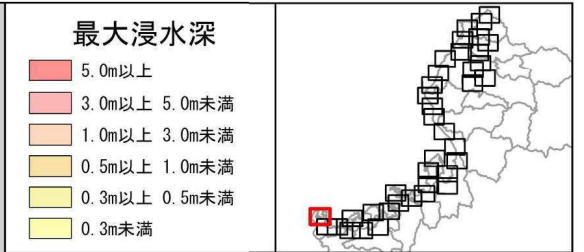
- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧：930hPa 最大旋衝風速半径：75km 移動速度：30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路：2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」

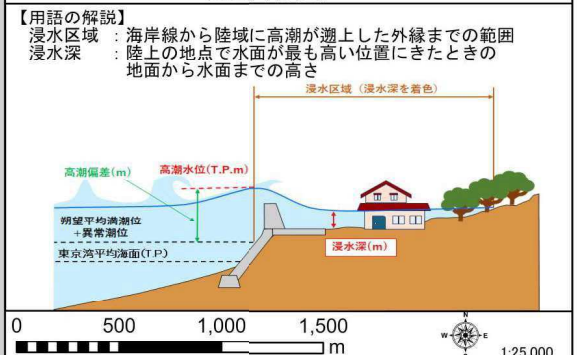


【留意事項】

- ・この図は、福井県沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）と水深（浸水深）を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風・低気圧により、福井県沿岸において潮位偏差及び有義波高が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風や発達した低気圧の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは国土地理院基盤地図情報数値標高モデル（令和6年10月時点最新）および津波浸水想定策定時（令和2年度）のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・海岸の堤防等のデータは津波浸水想定を設定した時点（令和2年度）から一部更新したものを、河川の堤防等のデータは最新の洪水浸水想定区域図のものを基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・本図の詳細については「福井県高潮浸水想定区域図について」をご覧ください。

【基本事項】

(1) 作成主体	福井県
(2) 指定年月	令和8年3月
(3) 対象となる沿岸	若狭湾沿岸
(4) 前提となる外力	
台風	中心気圧 : 930hPa 最大旋衝風速半径 : 75km 移動速度 : 30km/h、50km/h、73km/h
低気圧	経路 : 2012年4月低気圧、2014年12月低気圧の経路を平行移動



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 630」